

岡歯会報



年頭所感
岡山県歯科医師会 会長 西岡宏樹 <p2>

我ら年男・年女一言申ス <p14>

令和3年度 日本歯科医師会生涯研修セミナー <p32>

2022 vol.900 1



一般 岡山県歯科医師会
社団法人

目次

謹賀新年	岡山県歯科医師会 役員	1
年頭所感	岡山県歯科医師会 会長 西岡 宏樹	2
年頭所感	日本歯科医師会 会長 堀 憲郎	4
謹賀新年	岡山県歯科医師会 地区会長	6
彰	令和3年度 岡山県学校保健会表彰	7
県歯報告	山陽新聞社会事業団へ義援金寄託	7
Open the 理事会		8
我ら年男・年女一言申ス		14
マンスリー・デンタル・ニュース・レビュー (209)		27
社会保険部	第3回 社会保険部検討委員会報告	29
	令和3年度 新入会員社保研修会	31
医療法人設立認可申請の提出期限及び事前相談について		31
学術部	令和3年度 日本歯科医師会生涯研修セミナー	32
	岡山県歯科医師会 口腔がん研修会 (併催：岡山市歯科医師会 第9回口腔がん検診研修会)	35
公衆衛生部	第85回 全国学校歯科保健研究大会がWeb開催	36
	第71回 全国学校歯科医協議会	37
医療管理部	歯科医療安全研修会	38
	令和3年度 医療管理部新入会員セミナー	39
	令和3年度 歯科医療関係者感染症予防講習会	40
岡山女性歯科医の会	「チタンクラウンセミナー 知って得するバラ高騰の救世主」ご案内	41
地区歯科医師会だより	勝英歯科医師会 ブランチプロジェクト	42
リレー随筆	「コロナ禍での息子の運動会」 平川 聖 (児島歯科医師会)	43
笑顔!! こんにちは	「一期一会」 松島 章子 (岡山市歯科医師会)	44
学院のぺえじ	高齢者歯科学実習	45
歯科国保のぺえじVol.3	後期高齢者組合員の補助制度	46
第2回 岡山済生会総合病院 医科歯科連携推進研修会開催のご案内		46
新入会員紹介		47
お知らせ	日曜・祝日の開館予定日 (1月・2月)	47
計報		48
会員異動		49
1月の収納金		49
11月 会の動き		50
1月・2月 本会の予定		51
1月・2月 地区歯科医師会の予定		52
こちら編集室		52

<http://www.oda8020.or.jp>

■題 字 三浦 晰先生

■表紙作品 「出 航」 岡山市歯科医師会 西 圭先生

新しい年, 新しい組織, 新しい事案に挑むということで出航です。
～瀬戸内市尻海にて～



謹 賀 新 年

昨年は本会の円滑な運営にご協力を賜りまして誠に有難うございました。
本年も何卒よろしくご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

令和4年 元旦

一般社団法人 岡山県歯科医師会

会 長 西岡 宏樹

副 会 長 小見山 信 木村 里栄

専務理事 南 哲之介

常務理事 黒木 祐二 田頭 一晃 清水 裕雄

中村 慶男

理 事 北山 仁 後藤 弘幸 久門田俊治

森田 巨樹 佐伯 正則 土肥 範勝

本多 浩三 沼本 庸子

監 事 小林 清司 村上 昌之 倉田 庸生



年 頭 所 感

岡山県歯科医師会

会 長 西 岡 宏 樹

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、清々しい初春を健やかに迎えのことに心からお慶び申し上げます。

平素は本会の会務運営にあたり特段のご理解とご協力を賜り、衷心より感謝申し上げます。
本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

執行部が発足して半年が経ちました。まだまだ軌道に乗ったとは言い難く、登攀の足掛かりを模索している状況ではありますが、理事会においては忌憚ない意見を出し合える空気を大切に、お互いを尊重しながらも時に激しい議論を交わす。お互いの異なる視点を分かり合うことでさらに全員の視野が拡がり役員間の信頼、絆も深まっていくと感じております。初心を忘れず、掲げた目標を達成すべく同志一丸となり、今年も引き続き邁進いたします。

昨年10月に岸田総理が誕生しました。温かい人間味溢れる人柄、国民に寄り添う姿勢、その手腕に大いに期待したいところですが、一筋縄では行かないのが政治です。是非とも保身に走ることなく、しっかり民意に目を向け、国民の痛みの分かる政治に徹して頂きたいと思っております。

総理は「日米同盟が日本外交・安全保障の基軸であることに変わりはない」との姿勢を示しました。バイデン大統領も「尖閣諸島が対日防衛義務を定めた日米安全保障条約の適用対象になる」と改めて明言しましたが、国益を大義にアフガン撤退を行なった後だけに俄には信じ難い思いがします。いざとなったら二の舞を演じることになるかもしれません。穿ち過ぎかもしれませんが、中国の覇権主義の拡大を阻止するための盾に利用されているようにさえ思えます。米国が我が国の小さな無人島を守るという大義を米国民に示すことができると日本は本気で信じてるのかと疑いたくなります。

藤原正彦著作「日本人の誇り」の中にこのように書かれています。

『自らの国を自分で守ることもできずに他国に縋るような国は、当然ながら半人前として各国の侮りを受け、外交上卑屈になるしかありません。そして国民は何よりも大事な祖国への誇りさえ持てなくなってしまうのです』

全くその通りだと思います。

我々の組織においても然り「自分の身は自分で守る」その意識は自分たちの主義を主張していく上で、さらには様々な外圧から組織を守っていく上でとても大切です。コロナ禍にあって政府の診療報酬への取り組み、歯科への対応等その大切さを改めて痛感しております。何をおいても優先すべきは、会員益と会員の矜持を守り抜くことと銘肝し、怯むことなく攻める姿勢を持ち続けて参ります。

本年も物心両面で会員益を真摯に追い求め、会員が安心と誇りを持てる組織を目指し、渾身の努力を積みかさねて参る所存です。会員諸氏の更なるご指導そしてご叱声を賜りますことをお願い申し上げます。





年 頭 所 感

日本歯科医師会

会 長 堀 憲 郎

明けましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症という未曾有の事態と向き合って2年が経過しました。この感染症は、「医療提供体制の維持と社会経済活動の維持のどちらを優先するべきなのか」という議論を提起し、効率性、財政面を重視した近年の社会保障政策、医療政策に警鐘を鳴らしたものと受け止める必要があります。我々は医療提供者の一員として、改めて国民の健康、生命と生活を守る立場で政策提言をしなくてはならないと考えます。

自覚症状のない感染者が増え、感染経路の不明な感染事例が増えていることから実態把握が難しくなっていますが、過去5回の内部調査によれば、一昨年に引き続き昨年も歯科治療を介しての明らかな感染拡大の事例の報告はありませんでした。歯科の臨床現場は歯科医師やスタッフへの感染リスクが高いと言われる中で、日頃のレベルの高い感染防止対策を維持し、更に換気対策、予約調整等新型コロナウイルス感染への特段の措置を講じてきた結果と認識されます。臨床現場の皆様のご尽力に御礼申し上げます。

更に「歯科医師によるワクチン接種協力」も歴史的な対応となりました。歯科医師によるワクチン接種では、令和3年11月22日現在で、必要な事前研修の修了者は19,392名に上り、昨年10月末までに延べ2万8千名を超える歯科医師が出動し、160万回を超える接種を行いました。数字の大きさよりも、コロナ治療の最前線と医療界全体が連帯する姿を、歯科の立場から実績として内外に示せたことは、次の世代に胸を張れる対応ではないでしょうか。

まだ本会の会務運営は、コロナにより抑制されたものにならざるを得ませんが、一昨年の秋に取りまとめた「2040年を見据えた歯科ビジョン」については、昨年6月に発足した新執行部において具体的な展開を進めています。

今年は健康保険法が制定された1922年から数えて丁度100年目になり、我が国の公的医療保険制度は、一世紀に亘る歴史をもつに至ります。この間、戦後のう蝕のまん延に対する歯科界挙げての予防活動や、30年を超えて継続している8020運動の成果により、国民の口腔環境は大きく変化しま

した。それに伴う国民の歯科医療に対するニーズの変化に応えるため、歯科界は新たな歯科医療の姿として「口腔機能の維持、向上をはかる歯科医療を目指す」という方向性をもつとともに、「歯科医療と口腔健康管理の充実により、国民の健康寿命の延伸をはかり、元気な高齢者、働き手、支え手を増やし、人口減少問題にも貢献する」との明確な目標を有しています。その実現に向けた強い決意のもとで取りまとめたのが、この「2040年を見据えた歯科ビジョン」になります。

本執行部に設置した「歯科ビジョンの具体的展開に関する総合会議」で全体を俯瞰しつつ、17のチームで鋭意議論を深めており、この2040年を見据えた歯科ビジョンを20年後に向けた航海の羅針盤として、新しい1年においても、一貫性のある対応をしていきたいと考えます。

新型コロナウイルス感染症により「普通に生活ができることの貴重さ」を再確認した2年間でしたが、新しい年においては、国民の皆様、会員の皆様、関係者の皆様に、ひとつでも多く明るい話題、元気の出る話題をご提供できるよう、日本歯科医師会役職員一同全力で取り組んで参ります。皆様のご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。





新年あけましておめでとうございます

年頭に当たり、会員の諸先生方並びにご家族の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。

岡山市歯科医師会会長 壺内 智郎	御津歯科医師会会長 中川 清志	津山歯科医師会会長 平 滋之
倉敷歯科医師会会長 大森 潤	児島歯科医師会会長 大上 宏己	玉島歯科医師会会長 白神 佳樹
都窪歯科医師会会長 山本 道代	玉野市歯科医師会会長 桜井 修司	瀬戸内市歯科医師会会長 中島 啓一朗
赤磐歯科医師会会長 坂本 宏充	和気歯科医師会会長 久本 昌弘	吉備歯科医師会会長 遠藤 彰治
浅口歯科医師会会長 宮部 昌和	笠岡・小田歯科医師会会長 大出 徹	井原歯科医師会会長 三宅 教夫
高梁歯科医師会会長 黒瀬 邦彦	新見歯科医師会会長 宮地 芳之	勝英歯科医師会会長 小坂田 静二
真庭歯科医師会会長 吉田 伸生		

令和3年度 岡山県学校保健会表彰

岡山市歯科医師会 毛利 行 雄 先生
 都窪歯科医師会 東 原 慶 和 先生
 岡山市歯科医師会 江 口 博 之 先生
 倉敷歯科医師会 三 上 晴 彦 先生

(受賞者名簿順)

令和3年度岡山県学校保健会表彰の被表彰者が決定されました。上記4名の先生方が長年に亘る学校歯科保健のご功績に対し栄誉を受けられました。この度のご受賞を衷心よりお慶び申し上げます。

県 歯 報 告

山陽新聞社会事業団へ義援金寄託

会員診療所に設置している「災害支援 募金箱」に集まった義援金を12月9日(木)に、災害被災者支援として88万449円を山陽新聞社会事業団に寄託いたしました。

先生方のご協力に対し、厚く御礼申し上げます。今後も長い支援を続けて参りますので引き続きご理解、ご協力を宜しくお願いいたします。



山陽新聞社会事業団 松田正己理事長に目録を贈呈
(山陽新聞社にて)

Open the 理事會

令和3年度 第17回
令和3年11月4日(木)
18:25~20:38

1. 会長挨拶

先週の木曜日は全国学校歯科医協議会、日曜日は日本歯科医師会生涯研修セミナーと中国地域歯科医療管理学会が開催され、大きな行事が続きましたが担当の先生方お疲れ様でした。

一昨日、歯科医師連盟地区代表者会議がありました。連盟の必要性はいくら言葉で訴えてもなかなか会員の先生方には響きにくいと感じています。来年7月の参議院選挙に向けて会員の先生方の心と気持ちを動かす必要があります、そのためには役員の高い思いや一生懸命さ、ひたむきな姿勢を会員に示せるかどうにかかっています。少ない機会を有効に利用して、まずは今月末のデンタルミーティングに向けて本会と連盟とで協力して臨んでいきたいと思えます。

2. 報 告

【常務理事会】

- ・ 来年4月より事務職員1名新採用。
- ・ 事務局担当部署の新編成について協議。

【総務部調査事業部会委員会】

- ・ 「新型コロナウイルス感染症に関する影響調査および本会活動に対するアンケート」12月初旬に送付予定。

【IT推進委員会】

- ・ 本会、学院、連盟のホームページリニューアルについての3社の見積もりを検討。作成に約3か月は必要なため、年内に業者決定し、年度内でのリニューアルを目指す。

- ・ パソコンおよびパソコン関連器材の拡充について検討。

【その他】

各部委員会	3件
本会関連の研修会・会議等	6件
連 盟	4件
事務局	1件
その他	4件

3. 行事予定

本会行事	52件
連盟行事	12件
学 院	6件
国保組合	2件

4. 協 議

〔各種依頼事項〕

- (1) 岡山県医療審議会（医療法人部会）の開催と出席依頼について
西岡会長 出席
日 時 11月29日(月) 15:00
場 所 岡山県警察本部分庁舎
- (2) 令和3年度第1回岡山産業保健総合支援センター運営協議会の開催と出席依頼について
黒木常務理事 出席
日 時 12月2日(木) 15:30
場 所 ピュアリティまきび
- (3) 「保険で良い歯科医療を」全国連絡会より「2021 歯科総行動集会」(Web併用)への臨席・メッセージ依頼について
日 時 12月16日(木) 11:30
場 所 国会議員会館内及び各地からのWeb参加
- (4) 玉野市歯科医師会より新年会の開催と臨席依頼について
日 時 令和4年1月22日(土) 19:00
場 所 ダイアモンド瀬戸内マリンホテル
- (5) 香川県歯科医師会より会員種別に関する調査

への協力依頼について

南専務理事 対応

(6) 「岡山県後発医薬品の安心使用のための協議会」開催日の日程調整について

社会保険部対応

委員 石戸善一郎（前理事）

【検討事項】

(1) 本会入会申込みについて（11月1日入会）

承認

正会員 荻野 崇真（玉島歯科医師会）

(2) 指導について

5. 閉 会（沼本理事）

今日の視点（土肥範勝）

全国的にコロナ感染者数は激減し、マスクを着用しただけの数年前の日常を取り戻しつつある。執行部発足から4か月が経過した。理事会に目を向けると、私たち新任理事も少し肩の力が抜けて、心地よい緊張感を持って日々の会務に対峙できているのではと感じている。私自身、慣れることは悪いとは思わないが、このような時こそ一層の慎重さが必要と考えている。あの第1回理事会をもう一度思い返して真摯に仕事に取り組みたいと思う。

**令和3年度 第18回
令和3年11月11日(木)
18：26～20：52**

1. 会長挨拶

衆議院選挙で自民党は、接戦区で公明党の力を借りて議席を獲得したところが多かったようです。今回の18歳以下への給付金、マイナンバーカードでのポイント付与も公明党への付度が強く感じられます。現実路線を行かざるを得ない自民党と理想を掲げる公明党、この現実と理想という二律背反の連立与党の中では摩擦、軋轢が生じても仕方ありません。しかし目標と目的意識がしっかり共有できていれば摩擦、軋轢も組織の活力になるでしょう。執行部も「会員益」という目標を見誤らなければ、たとえ摩擦、軋轢が生じたとしてもそれは活力になります。決して恐れずに、忌憚なく意見を言い合える理事会の空気感を大切にしていきたいと思えます。

2. 報 告

【支払基金 支部運営協議会】

・オンライン資格確認の不具合が多数生じたことに対する説明が主な内容。

【本会・IT（ホームページ検討）合同委員会】

・本会、学院、連盟のホームページリニューアルについて3社の見積り比較、検討。次回細かい説明を求め、業者を最終決定する予定。

【岡山県国民健康保険団体連合会理事会】

・オンライン資格確認に不具合が生じたことへの説明。
・AIによるレセプト審査を来年10月より実施。2024年には支払基金との基準の統一を目指すとのこと。

【その他】

各部委員会 5件
本会関連の研修会・会議等 13件
連 盟 3件
学 院 2件

国保組合 1件
 その他 5件

3. 行事予定

本会行事 48件
 連盟行事 12件
 学院 6件
 国保組合 2件

4. 協 議

〔各種依頼事項〕

- (1) 第48回岡山県がん診療連携協議会の開催と出席依頼について

小見山副会長, 黒木常務理事 出席

日 時 12月6日(月) 18:00

形 態 オンライン開催 (Zoom)

- (2) 吉備歯科医師会より新年会の開催と臨席依頼について

日 時 令和4年1月15日(土) 19:00

場 所 お食事処 前田

- (3) 令和3年度第2回岡山県医療対策協議会新たな財政支援制度検討部会の開催と出席依頼について

小見山副会長 出席

日 時 令和4年2月10日(木) 14:10

場 所 メルパルク岡山

- (4) 倉敷市内歯科医師会協議会より「第22回介護保険セミナー」開催に伴う後援依頼について

承認

日 時 令和4年2月23日(水・祝) 10:00

場 所 ぐらしき健康福祉プラザ

- (5) 岡山県教育庁保健体育課長より令和3年度学校保健推進協議会委員の推薦依頼について

黒木常務理事 留任

- (6) 令和3年度厚生労働科学研究労働安全総合研究事業「職場での歯科口腔保健を推進するための調査研究」より「事業所の歯科口腔保健に関する事例収集のための事前質問紙調査」への協力依頼について

公衆衛生部対応

締 切 11月30日(火)

- (7) 岡山県医師会より「UNITE FOR SMILE PROJECT #一緒に!笑顔をめざして」笑顔を咲かせる冬の花火を打ち上げたい!クラウドファンディングへの支援・協力依頼について

目 標 500万円

期 間 11月8日(月)~12月24日(金)

用 途 岡山市内3箇所で上げる1,000発分の花火費用

〔検討事項〕

- (1) 令和3年度「中国・四国」「九州」地区歯科医師会役員連絡協議会協議題について

- (2) 指導について

5. 閉 会 (木村副会長)

今日の視点 (佐伯正則)

現在、全国的にコロナ患者も減少してきており、様々な行動制限などの規制が緩和されてきています。しかし、岡山県は11月11日現在 直近1週間の人口10万人あたりの感染者数が、4.02人と2位の岐阜県の2.82人を大きく離して断トツの状況となっており、また今後の感染拡大第6波も懸念されています。理事会でも各地区の会合への出席依頼も来ており、社会保険部も来年の改定講習会の日程について検討に入っております。

まだまだ気を緩めず、感染予防に取り組み、予定されている全ての行事が開催されることを願っております。

令和3年度 第19回
令和3年11月18日(木)
18:28~20:07

1. 会長挨拶

先日の前執行部慰労会では、先輩方より温かいご指導ご鞭撻をいただきました。そして先人の先生方が築いた伝統や歴史を継承していくことの責任の重さを、改めてひしひしと感じました。私を含め役員の方先生方も志を新たにされたと思いますが、志は常に心に刻み続けないと、時の経過と共に小さくなりそして消滅してしまいます。今までと同じことをしていても、何も変わらなくても二年の任期は無難に終るだろうと思います。大切なのは更なる高みに登ろうとする気概や心意気、熱意、姿勢だと思っています。

2. 報告

【医療管理部 正・副委員長会】

- ・令和3年度歯科医療関係者感染症予防講習会準備。
- ・令和4年2月13日(日)医療安全研修会開催。
- ・令和4年度歯科助手資格認定講習会開催について検討。
- ・歯科衛生士スキルアップセミナー開催について検討。
- ・HIV患者の歯科診療体制構築について検討。

【ホームページ（業者）プレゼン】

- ・2社のプレゼンと新たな見積もりを検討し、12月には業者を決定。

【岡山県ワクチン対策室と面会】

- ・国保連合会からの2回目接種終えた対象者のデータをもとに、各自治体から8か月目の1か月前（早ければ12月中に）に3回目の接種券が個人宛に送付される予定。予約の方法については、まだ不透明。

【その他】

各部委員会	4件
本会関連の研修会・会議等	10件
連盟	2件
学院	1件
国保組合	1件
事務局	2件
その他	2件

3. 行事予定

本会行事	41件
連盟行事	12件
学院	5件
国保組合	1件

4. 協議

【各種依頼事項】

- (1) 岡山県医師会令和4年新年互例会の開催と臨席依頼について
西岡会長 出席
日時 令和4年1月15日(土) 15:00
場所 ホテルグランヴィア岡山
- (2) 令和3年度岡山県認知症対策連携会議の開催と出席依頼について
森田理事 出席
日時 令和4年1月25日(火) 17:00
形式 オンライン開催
- (3) 令和3年度第2回岡山県国民健康保険運営協議会の開催と出席依頼について
田頭常務理事 出席
日時 令和4年2月17日(木) 14:00
場所 県庁東棟 3階
- (4) 中国地方障害者歯科臨床研究会より「第39回日本障害者歯科学会総会および学術大会」開催に伴う後援・寄附・周知依頼について
後援・寄附承認
期日 令和4年11月4日(金)～6日(日)

場 所 倉敷アイビースクエア, 倉敷市民会館

ト」への協力依頼について

予 定 約2,300名の参加

小見山副会長 対応

(5) 山陽新聞社より「第51回あすの岡山アンケート

5. 閉 会 (南専務理事)

今日の視点 (森田巨樹)

新型コロナウイルスの3回目ブースター接種に関して、今回は県歯科医師会が取りまとめを行わないことから、会員に混乱が起きるのではないかという点が問題となり、その点を会員に周知する方法について話し合われました。

また現在、新ホームページ作成を依頼する業者選定が大詰めに来ており、業者の出した見積もりの報告、選定の方向性についても話し合われました。来年度開始までにはリニューアルされ、より会員益となるホームページをご案内できると思います。

**令和3年度 第20回
令和3年11月25日(木)
18:30~19:58**

1. 会長挨拶

日本歯科医師会から歯科外来等感染対策実施加算廃止についての要望書に対する回答が届きました。日医や日薬、行政との協調や配慮も必要で、建前で動かざるを得ない立場が窺えます。しかし都道府県歯科医師会においては「自分の身は自分で守る」という意識で常に本音を訴え続けるべきです。私たちまで建前で動けば歯科界の未来はないでしょう。また私たち保険医にとって診療報酬は診療への対価であり評価です。保険点数がなくなるという事は評価されないに等しいと感じます。厚労省から感染予防対策への評価は初再診料や外来環に含まれると言われても、もっとはっきり目に見える形でないと説得力はないですし、感染拡大防止継続支援補助金8万円も感染対策実施加算を廃止するための梯子だったように思います。今後も評価は診療報酬にしっかり反映されるべきで

あるという姿勢を崩さず、行政の対応を注視していこうと思います。

2. 報 告

【日学歯理事会】

- ・厚労省, 間 隆一郎 口腔ケア担当審議官就任。役職に初めて“口腔ケア”という文言が入ったことは画期的なこと。
- ・学校安全教育調査研究委員会においてマウスガードの研究指定校として高校野球強豪校4校(花巻東・大阪桐蔭・浦和学院・新田)を指定。
- ・第85回全国学校歯科保健研究大会 参加人数合計2,785名。

【その他】

- 各部委員会 1件
- 本会関連の研修会・会議等 4件
- 連 盟 3件
- 国保組合 1件
- 事務局 1件

3. 行事予定

- 本会行事 43件

連盟行事 13件
 学 院 5件

4. 協 議

〔各種依頼事項〕

- (1) 日本学校歯科医会より第104回臨時代議員会の開催と出席依頼について

西岡会長, 黒木常務理事 出席

日 時 12月15日(水) 13:30

場 所 TKP市ヶ谷ビル

- (2) 令和3年度第2回岡山県自立支援協議会医療的ケア児等支援部会の開催と出席依頼について

土肥理事 出席

日 時 令和4年2月2日(水) 15:00

場 所 メルパルクOKAYAMA

- (3) 岡山済生会総合病院患者サポートセンター歯科衛生士より「岡山済生会総合病院第2回医科歯科連携推進研修会」の開催に伴う後援お

よび講師派遣依頼について

学術部対応 (講師: 岡崎副委員長)

日 時 令和4年2月17日(木) 19:00

形 式 Webのみ

講 演 20分 化学療法における口腔管理について

- (4) 歯科医師国民年金基金より国民年金基金制度の普及協力依頼 (アンケート) について

医療管理部対応

○会議開催予定, 会報発行予定 等

○制度説明会開催の場合は協力謝金有り

〔検討事項〕

- (1) 島根県歯科医師会より日本歯科医師会代議員会の「1日のみ開催」に関する各県意見について

1日開催で問題無し

5. 閉 会 (黒木常務理事)

今日の視点 (久門田 俊治)

緊急連絡網, また差し迫った講習会の案内としてのGmailアドレス登録をお願いして参りましたが, 会員約1,000名に対して半数程度の登録に留まっています。

会員の皆様にご迷惑をおかけすることなく機能しているとはいい難い状況です。

まずは会員全体に迅速な安否確認や情報伝達できる環境体制構築を目指しておりますので, Gmail登録を是非お願いいたします。

緊急時にメールが使えるのかといった問題や, 講習会の案内等はメールだけでは不親切・不十分であるとのことご批判もあることは重々承知しておりますが, よろしくお願いいたします。



年男年女新年の抱負

84 歳

原田 武彦
吉田 隆行

岡本 公宣
大西 俊之
居樹 秀明
船曳 洋司

高木 宏太
樋口 将
山脇 将貴

72 歳

塩津比佐夫
白髪 仁
真鍋るい子

皆木 克朗
山本 忠浩

36 歳

池田 充宏
井上 輝
香山 祐樹

48 歳

江口真太郎
大塚壮一郎
北 ふみ
工藤 麻子

60 歳

井上 泰治
上村 勝人



新年の抱負

井原歯科医師会

原田 武彦 (84歳)



新年明けましておめでとうございます。

今年是我にとって7度目の年男が巡ってまいりました。嬉しくもあり恥ずかしくもあり、感慨に耽っています。私は幼児の頃、虚弱体質であると烙印を押されていたので、こんなに長生きが出来るとは思っていませんでした。幸いにも現在身体の処々に疾病は抱えておりますが細々と仕事は続けております。とは申しまして残る人生、先は見えています。微力ながらも残る体力、能力を自覚しながら歯科医療に従事するつもりで居ります。かつて楽しんできたゴルフ、ウォーキングは随分前に卒業、今はもっぱら庭で花、野菜を育て年相応の楽しみを見つけております。四季の変化をしっかりと体感する毎日です。徒然草の「されば人、死を憎まば生を愛すべし、存命の喜び日々を楽しまんや」という一節に感銘を受け、この気持ちで今年一年頑張るつもりでおりますので、宜しくお願い致します。

素晴らしき哉、歯科人生！

岡山市歯科医師会

吉田 隆行 (84歳)



八十三歳，寅年，年男。紆余曲折だった人生の大半で毎日握り締めた鉗子，踏み続けたペダル，家族のようにいつもそこにあったセット。思えば大阪歯科大学卒業後，場面や場所が変わろうともその記憶のすべてにこれら「仲間達」の存在がありました。そしてその「仲間達」と同じだけの時間で苦楽を共にしてきたスタッフの皆様。今なお語り尽くせぬ思い出と言いきれぬ感謝の気持ちで一杯です。

「人はこの世に生まれ死すまでの短い時を，次の世代の為に生きる必要がある」とは祖父の教え。私はその言葉を胸にスポーツにも深く関わって参りました。そして何よりも歯科医師としてこれまで邁進してこられたのは家族の理解あればこそ。本当にありがとう。

「為せば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり」

—我が人生訓—

新年の抱負

岡山市歯科医師会

塩津比佐夫 (72歳)



新年あけましておめでとうございます。

昨年はコロナ禍の中で大変な一年でした。私は30歳で歯科医師会に入会，開業して今年で42年，年齢は72歳になります。

日常生活は孫の幼稚園の送り迎え，診療，仕事が終わるとスポーツクラブで汗を流す毎日です。趣味は登山と写真撮影（特に星景写真）ですが，昨年はコロナで行けなかったのが今年こそはと思い，色々，計画しながら過ごしています。

開業当初はがむしゃらに仕事をし，患者の治療に追まられる毎日でした。

男性の健康寿命は72.14歳，女性は74.79歳 健康寿命とは，「日常生活を制限されること無く健康的に生活できる期間」と定義されています。今年の抱負，願望ですが，今年はその健康寿命を超えることになります。残り少ない人生，健康で有意義に過ごせるように，今年こそは仕事をやめて山に登ったり，車中泊で写真撮りに行ったりしたいですね。

コロナとの戦いは当分終わりそうもありませんが，収束するまで希望を持って生きたいものです。本年が皆様にとって良い年であります様願っています。

新年の抱負

玉野市歯科医師会

白髪

仁 (72歳)



新年明けましておめでとうございます。

岡山県歯科医師会に昭和54年に入会させていただき今日まで大変御世話様になっております。開業以来無事に過ごさせていただけているのは、歯科医師会の諸先生方のお陰だと大変感謝いたしております。アメリカ留学から帰国しすぐに開業しましたので、保険制度もよく分からない中、歯科医師会の先生方、同窓会の諸先輩の先生方には大変お世話になりました。ありがとうございました。

ここでアメリカの教育制度に触れてみたいと思います。私はアメリカオレゴン大学歯学部大学院を卒業しました。(歯周病専攻) 歯科の専門医制度のあるアメリカでは専門医として開業或いは大学等で指導する為には大学院を卒業しなくてはなりません。アメリカは自由診療制で日本のような保険制度はありません。専門医養成機関である大学院は将来専門医として臨床を行っていくだけの技量を修得する為、臨床は勿論、理論も厳しく指導されます。その為学部と同様に基礎と臨床の講義が行われます。当然講義後に毎回試験があり、大学院はGPA4.0満点で3.0以上(学部は2.0以上)ないと次学年に進級できず即退学です(留年はありません)。GPA3.0は100点満点で80点以上、勿論すべて英語で行われますので母国語が英語でない留学生には大変な努力が必要とされます。臨床も患者を診る度にステップステップで採点されGPAで評価されます。血の滲む様な努力の結果、無事大学院を卒業しました。その時アメリカで専門医として開業することを考えましたが、家庭の事情で大学からの話も断念し、生まれ育った玉野市で開業することにしました。今はこの決断に間違いは無かったと思います。臨床は大好きで「好きこそ物の上手なれ」の通り未だに臨床の技術上達を心がけ、それを実感する毎日です。これからも少しでも社会に貢献したいと、生涯現役でありたいと思っています。

変革の歴史を生きて

都窪歯科医師会

真鍋るい子 (72歳)

あけましておめでとうございます。とうとう6回目の年女となってしまいました。

私が大学に入学した時は、学生はもう戦後ではないといわれる「戦争を知らない子供たち」の集団でした。教授陣はもちろん戦中派で、打ち出冠(今の乳歯冠のような冠)から鑄造冠に大きく変わった時期で、鑄造冠のすばらしさを熱く語られたものです。超音波スケーラーも出現し、実技もしたことのない我々を相手に「タバコのヤニ汚れまで簡単に除去できる」と感動を話されたこともありました。先生方にとって大きなパラダイムシフトの時代だったのでしょう。

大学6年のとき初めて歯牙と同じような透明感と色を出せる充填物として、コンポジットレジンが出現しました。濁らない色の充填物の出現にとっても新鮮な思いを持ちました。開面金冠というギンギラ銀の前歯からメタルボンドへの移行とともに審美的修復という言葉が多く使われるようになった時期でも



ありました。その後、歯科材料や手技は硬質レジン前装冠・冠を手で形成する方法になったり、混合タイプだったCRが光重合に代わるなどはあっても大変革と思われるものは出ず、世間のIT化に乗ったのはカルテなどの文書系しかないのかと思っていました。

ところがここに来て金属鑄造冠から3Dの光学印象で臼歯の冠までが作れるようになりました。これこそ今のパラダイムシフトなのではないでしょうか。よく考えれば当然で不思議なことではないのですが、3Dというと全く歯科とは別世界の造作物をつくるものと思っていました。ところが技工士さんがパソコン上に取り込んだ3D画像の歯牙模型を指先であちこちに向けながら冠の設計図を作り、CAD/CAM機で冠が出来上がる時代になってきました。石膏もワックスも使わず正に今のSDGsにぴったりと感心しきりです。水を出しながらCAD/CAM機で四角い棒から削り出す冠を見ていると、時代が変わったのだと感ずるのに十分でした。

学生時代ワックスアップの実習で苦戦した我々、これからの学生さんはワックスアップとパソコン上での設計もするのでしょうか。時代が変わってきているのを実感する今日この頃ですが、この先の変革、パラダイムシフトがどんなものになるか楽しみです。みられるかどうかはわかりませんが...

新年に思ふこと

玉野市歯科医師会

井上 泰治 (60歳)

新年明けましておめでとうございます。やっと60歳に成りました。

多少、目も見えなくなり体も動きませんがまだまだ元気です。私の父親は、90歳をこえても現役の歯科医師として診療をしております。あと30年、長いですね。

今、思いもよらぬコロナの時代に入り生活が息苦しく成りました。私の家族は、この2年ほど、外食も旅行もしていません。診療所は窓を開けて患者さんにはマスクをしてもらい、迷惑を掛けています。ドアを開けているとツバメが3度ほど中に入って来ました。岡山のコロナは減りませんねえ～。早く普通の世の中になって欲しいです。

今年、岡大に入った長男は、リモートでほとんど大学に行ってません。すべてズームです。便利なんですけど・・・たまに覗いて見ると、カリカリ音がしていて、なんと石膏棒を削っています。一年生から歯形彫刻している、四年生で、最初の国家試験???

(間違っていたらすいません)

家族の健康と小さな幸せ、会員の先生方の健康とご多幸をお祈りします。



後悔しないために

倉敷歯科医師会

上村 勝人 (60歳)



数年前から、これからの人生を意識するようになりました。元気で活動できるのはあと20年ぐらいだろう、それならやれることやっておこう。東北や北海道には行ってみたい温泉があっても、中々行く機会がありませんでした。でもここで決心するしかない、手始めに2年前のゴールデンウィークに秋田から青森にかけて温泉旅行を計画しました。然し新型コロナの流行で、頓挫してしまいました。それからはコロナ禍の影響で温泉は諦めています。ならばと、自宅の1部屋をミニスタジオに改造しました。せっせと宅録に励んでいると、防音したはずの隣の部屋の娘から「うるさい」と。それならバイクで四国の八十八箇所お遍路でもと思いきや、家内が寂しそうに「いいな、一人だけ」とポツリ。スズキジムニーで行けば2人で行ける、と購入しましたが納車まで1年かかると言われました。何をやっても上手くいかない。文句の一つも言いたくなくなるところですが、耳順の歳となりました。それもまた一興と素直に受け入れて、ポチポチと人生楽しめればと思っています。

還暦を迎えて

赤磐歯科医師会

岡本 公宣 (60歳)



今年、私の人生で2回目の自国開催のオリンピックがあり（とは言っても1回目は2才で記憶がありません）、国民の期待のプレッシャーに押しつぶされたバドミントンの桃田と陸上のリレー侍、そして逆にプレッシャーを力に変えて見事金メダルを獲得したソフトボールの上野、柔道の大野等々、コロナ禍での開催で賛否両論はありましたが、沢山の感動を頂き、熱い気持ちになりました。

平成5年に開業し、今年で28年になります。今までこれといった失敗もなく無事にやってこられたのも、諸先輩や周囲の皆さんのおかげと感謝しております。

友人に言わせると、私には最強の守護霊がついているとのこと。それはともかく、私の座右の銘は「一期一会」です。今までの人生で出会ってきた、心の底から信頼できる人達が私の財産です。

いよいよ第2の人生が始まります。これからは、様々な欲に拘束されることなく、内面の豊かさ、精神の幸福を思い、常にワクワク感を忘れず日々過ごしたいと思います。

そして、少しでも皆さんに恩返しが出来ればと、改めて気合いが入る今日この頃です。

持続可能な医療体制構築を急げ！

瀬戸内市歯科医師会

大西 俊之 (60歳)



2022年 国民歯科検診始まる＝このことは色んな影響を与えるきっかけになった。国民になぜ歯科検診なのかを岸田内閣は用意周到な説明を行なった。つまり口腔の健康を保つ事が健康寿命を上げる効果が高く、医療費抑制に繋がるというデータを示して国民に十分な説明がなされた事がCOVID19で医療体制の逼迫を感じた人々には納得を得易い状況だった。潜在患者が多く検診を受けなかった方も歯科の受診に行くようになった。受診率アップにな

ったのは健康保険料の段階的な引き上げ策が有効だった。歯科検診やがん検診などの検査を受けないとマイナポイントが受けられず、高い健康保険料を払うような仕組みが導入されたからだ。逆に歯科検診を受け定期的な受診される方には窓口でポイントが付与されることで安く受診できるようにもなった。

この受診者増は歯科界にいろんな波及効果をもたらした。今まで他の業種に流れていた人材も回復傾向になる。歯周病はもちろん、噛み合わせの重要性も見直され、欠損歯数と認知症との相関も多く国民の知るところとなり、歯科衛生士、歯科技工士の評価も保険点数に反映されて若いデジタル世代も多くなった。コデンタルの養成学校の倍率も高く全国平均3倍以上にもなった。歯科診療室は多くの病院や老人施設にも併設されはじめた。50床以上の病院100床以上の施設に歯科医、衛生士の配置が必要とされたからだ。この施策により、歯科を持たない病院は高給で歯科医師を獲得に走った。以前は診療報酬が医科に比べかなり低かった為どの病院も設備のかかる歯科部門を持つメリットがあまり無かったが、診療報酬も医科以上となり病床数の多い病院や施設には感染リスクを減らせると学会でエビデンスが広まった。それまで国民医療費は7%台と低迷していたが、2025年には12%となるも総医療費は横ばいから減少に転じると共に、危惧された認知症の高齢者人口率も約29%（2020年）がなんと25%まで減少するという事となった。

“あんた！何嬉しそうに寝言いよんで！息子の進路をうつつ抜かしてないで考えてやってよ！”ハッと気がつく時は2022年正月。お酒を飲みすぎてコタツで寝込んでしまっていたのだった。“あー良い夢だったなー” TVでは2025年問題へのカウントダウンの特集が組まれて高橋日歯連盟会長がスピーチしていた。これからは歯科に光が当たりこの超高齢化時代に新たな活力を与えたいものだ。



還暦かあ・・・

岡山市歯科医師会

居樹 秀明 (60歳)

明けましておめでとうございます。

今年はいよいよ還暦…って全く実感ないなあ。第一還暦って人間的にしっかりした人でしょ。孔子が「四十にして惑わず」と言ったけれど日々迷うことばかりだし、「六十にして耳順う」は家内の言う言葉をととても素直に受け入れることができないし…。ま、唯一「五十にして天命を知る」は、歯科医師として天が与えた使命とは思ってるけど。自分はとても世間でいう還暦にふさわしい人間になっていない。そもそも還暦を迎えた人がこんな拙い文章書かないでしょ。

と抗っていても確実にあと8か月で還暦になるわけだ。「来んと思った時はすぐに来た 時間でこんな冷たかったかな」と藤井風さんは歌ってたけど正にこうなるんだろうね。還暦過ぎても人生楽しんでいきたい。50過ぎてから始めたマラソンも引き続き走りたい。(いつまで完走できるだろう…)

なんだかんだ言っても12年後も全然成長せず、似たような拙い文章を会報に投稿しているんだろうな。



年頭にあたって

倉敷歯科医師会

船曳 洋司 (60歳)



会員の皆様、明けましておめでとうございます。

この原稿を書いているときにはコロナも少し収まり、全国的に規制緩和傾向が進んでおりますが、皆様のお手元に広報誌が届くころにはさらに落ち着いている日々であることを祈っております。

さて、早生まれの私は年が明けると早々に60歳になります。節目の年には自分なりに目標を立ててきました。10年前、50歳を迎えたときにはトライアスロンに出ようと決めて、トレーニングののち2014年には「第4回倉敷トライアスロン」に出場、完走しました。また、それに加えてフルマラソンを走ろうと決め、2015年「第1回岡山マラソン」「大阪マラソン」にエントリー、いずれも当選したのですが、こちらは残念ながら膝を故障してしまって経験できずでした。ですが、それまで走ることもなんて大嫌いだった自分が走る楽しみを知ったことは今でも私の財産となっています。ちなみに本番では走れませんでした。トレーニングでは42.195kmを完走したので自分なりに満足しています。

そして60歳。今度はハワイの「センチュリーライド」という自転車イベントに出たいと思っています。個人的には孫もできて、「爺さんが無茶をしてはいけない」とあちらこちらから心配されますが、「えっ！あの人おじいちゃん？」と言われるようにいつまでも“子供”でいようと思っています。

続・汚名返上

津山歯科医師会

皆木 克朗 (60歳)



皆様明けましておめでとうございます。コロナ禍の今の状況等に思いをはせながら、まだ紅葉も始まらぬ中この原稿を書いております。今年は還暦を迎えますが、私自身特別な思いがある訳ではなく、平常心で過ごせればと思っています。

どちらもそうだと思いますが、私が所属する津山歯科医師会では会員の高齢化が進んでおり、現在保有する会館や行っている事業が将来会員にとって重い負担とならないよう、如何にして身の丈に合ったものにしていくか、執行部一同知恵を絞っているところです。今年少しでも前に進んでくれればと

思います。

さて、年男の新年の抱負の寄稿はこれが2回目となります。前回は36歳の時「汚名返上」のタイトルで大山アークCCのスタートホールでの2オン6パットの曲芸の話を披露し周りの会員から失笑を買いました。今年こそ苦手なショートパットを克服し「汚名返上」といきたいものです、と締めくくったのですが、その後も「カップに近づくほど下手になる」と言われ続け、24年が過ぎました。今年こそはいや、今年も、「汚名返上」とはいかないでしょう（苦笑）。

60歳

岡山市歯科医師会

山本 忠浩 (60歳)



新年明けましておめでとうございます。

年男しかも還暦という事でこの原稿依頼を受けて、自分ももうそんな歳か、時の経つのは本当に速いものだと思改めて思っている。

24歳で大学を卒業して歯科医師となって36年。既に人生の半分以上を歯科医師として過ごしている事になる。そして思い返せば私が東京での修行を終えて岡山に帰って来た当時の父の年齢とほぼ同じになった。まだ歯科医師としての経験の少なかった私はその父の後ろ姿を見て更に経験を積み重ねていったわけだが、今の自分はそんな人の模範となる様な仕事ができているだろう

か。そんな事を最近考えるようになった。

古代中国で成立した陰陽五行説から見た2022年の干支「壬寅」は、「陽気を孕み、春の胎動を助く」。すなわち、春の胎動が大きく花開くためには、地道な自分磨きを行い、実力を養う必要があるといったことを指し示しているそうである。

自分にとって「春の胎動」とは何であるかは分からないが、とにかく毎日の研鑽が必要である事は間違いない。「老害」と言われるのは本意では無いが、現在の還暦ではまだ引退を考える歳ではないと自分では思いたいので、これを機会に時代に取り残されないよう新たな気持ちで勉強し続けて、次世代に引き継ぐ態勢を整えようと思う。

新年の抱負

倉敷歯科医師会

江口真太郎 (48歳)



新年あけましておめでとうございます。

私は大学生の時、千葉県のようなテニスクラブに練習に行っていました。中でも柏市にある吉田記念テニス研修センターの施設内容は大変充実しており、「ここで毎日働きたい」と思った程です。金メダリストの国枝選手もここでトレーニングを積んでいます。あと、どうしても練習に行きたかった場所は亜細亜大学のテニス部です。当時、亜細亜大学テニス部は日本の大学で一番強く、その中のひとりにかつてのダブルスパートナーがいました。彼は強豪校のエースとなり活躍していました。そんな彼と25年ぶりに再会した時、「2年間ラケットを握っていない」との事で、これはチャンスと思い試合を挑み見事勝利しました。しかし、その1試合で2年間のブランクを埋められ、その後は30連敗位しました。恐らくもう一生勝てないでしょう。

今年の目標は「彼に勝つことは諦め、無理をしない」で頑張ろうと思います。

新年の抱負

井原歯科医師会

大塚壮一郎 (48歳)



先日、コロナ鎮静化の隙を突いて大学時代の友人と会う機会を得た。場所は香川県、登山を趣味とする友人が旅先で突然思い立っての緊急招集であった。誘いがあったのは前日の夜、急にもほどがあるのだが、今の状況下ではまたと無いチャンスだと思い、家族の生温かい視線を背に電車に乗った。集まったのは私を入れて三人。発起人は大阪の友人で、趣味の登山の傍ら YouTuberとしての活動もしている変わり…自由人 (以下：YouTuber)。もう一人は地元香川で開業している素朴を絵に描いたような友人 (以下：うどん) である。近況報告がひと段落した頃、YouTuberがおもむろに自撮り棒を取り出し、「子育てとは？」という哲学的な問いかけをしてきた。「おい止めろ、俺に話を振っても気の利いたコメントなど何も出ない」と内心で焦る私を尻目に、うどんは即答する。「子育てとはエンタメである」と。そして子供と過ごす時間がいかに楽しいか嬉々として語り始める素朴なうどん。日頃、子供たちに厳しめに接している私の胸にうどんの純粋な言葉が容赦無く刺さる。

そして私にも話を振られる。この問いに対して私は「子育てとは、生きるための術を教えることである」という明確な答えを持っている。子供に厳しく接するのもこの信念によるもの。しかし、元々アドリブに弱い上に動画撮影まで始まったこの状況で完全にテンパってしまった。頭をよぎるのは学校と塾の送迎に追われる日々、小学生の宿題とテスト勉強に付き合う毎日……。 「子育てとは？」の問いかけに、思わず口をついて出た言葉は「苦行」の二文字。情けない……。

というわけで今年の抱負は「ゆとりを持って子育てを楽しむ」とします。

追記 このやりとりがアップされるかどうかは分かりませんが、良かったら「ナカノサトシチャンネル」見てください。気に入ったならチャンネル登録してやって下さい。

新年の抱負

岡山市歯科医師会 北 ふみ (48歳)



新年あけましておめでとうございます。

コロナ状況下に考えていたことがあります。ここから新年の抱負を決めました。

『「いつかしようと思っていたこと」の「いつか」を「いつ」にする』
しようと思っていたことの一つは北関東への旅行です。

テレビで宇都宮駅前の餃子像を見たときに、いつか実際に像を見て、宇都宮餃子を食べたいなあと考えていました。それが、今は行けません。別に、餃子が大好きではありません。月に1回も食べません。

そして、数年前、さいたま市で学会があったときに大宮の鉄道博物館に行く時間が取れず、残念だったのも気になっています。宇都宮と同時に行きます。東京から大宮は東北新幹線で一駅です。在来線ではなく、あえて憧れの、はやぶさに乗ります。

いつにするのか。「県外に旅行に行ったよ」と誰にはばかることなく言えるようになったら、です。いつになるのでしょうか。

今のうちに他の「いつか」の時期も決めておきます。

新年の抱負

真庭歯科医師会 工藤 麻子 (48歳)

明けましておめでとうございます。

24歳で大学を卒業し、すでに歯科医師として24年目になりました。同じ仕事を24年間しているのだから、そろそろベテランと言いたいところですが、・・・まだまだ。歯科医師人生の学びに終わりはないと痛感する日々です。コロナ禍でセミナーや学会、勉強会など遠方に出かけにくくなり、思ったように学べない一方、県北からの移動時間を考えるとオンライン開催の学会やセミナーは便利と感じるようになりました。特に同時時間帯に複数の講演がある学会などは、聞きたいと思った講演全てをゆっくり聞くことができ満足しています。



趣味の旅行、海外旅行にいつでも行けると思っていたところが懐かしいですね。元気で仕事ができることに感謝しながら、いつか海外に行けることを楽しみに父と二人三脚コツコツ診療していきたいと思います。

今年で開業5年目に入ります。今後とも諸先輩方のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

年男として

岡山市歯科医師会 高木 宏太 (48歳)



新年あけましておめでとうございます。

岡山の地に開業させていただき、周りの皆様のおかげで12年目を迎えることができました。近頃では院内の壁や床の汚れが目につくようになり、開院から苦楽を共にした機材達も故障するものが少しずつ出てきました。医院として良くも悪くもベテラン感が出てきた今日このごろです。

気がつけば私も48歳を迎え、4度目の年男が巡ってきました。48歳という年齢を考えるとおそらくそろそろ人生の折り返し地点。思い返してみると往路では自分の未熟さもあり、自分を中心に走っていることが多くあったように思います。これから足を踏み入れる復路では、悲しいかなもう決して若くはないという事を自覚した生活を心掛けながら健康に留意し、今まで自分を助けてくださった人達や自分を育ててくださった地域社会に感謝しながら、社会の一員としてご恩をお返しできるように努めていけたらと思っています。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

2022 トラ“寅”イアル

高梁歯科医師会 樋口 将 (48歳)

新年あけましておめでとうございます。ここ2年程新型コロナウイルスのため当たり前だった日々の生活が一変してしまいました。今年こそ、終息に向かっていくのを期待したいです。

さて趣味ではまってしまったロードバイクもすでに8年目に突入です。ここ2年はほぼ県内や近県で100～160kmくらいのサイクリングが中心で休診日には春は桜、夏は海山、秋は紅葉、冬は比較的暖かい南を一人や自転車仲間と共に走っていました。

今年はさらにブルベに参加して200km(13.5時間)と300km(20時間)の完走が目標です。ブルベというのはタイムや順位にはこだわらず、国内には1,000kmまである制限時間内での完走を認定するロングライドのサイクリングイベントです。完全にノーサポート・自己責任なので、あらゆる状況に自分で対応しなければなりません。過酷ですがその「非日常性」を楽しむことが最大の魅力なので、新しいトラ(寅)イアルとして今年の目標として掲げたいと思います。



新年の抱負

倉敷歯科医師会

山脇 将貴 (48歳)

まずはこれまで歯科医師会の方々には大変お世話になりましたことの御礼を申し上げます。会務等お役に立てることの少ない歯科医師ですが、それでも会の一員として扱っていただいていたのは祖父や父への皆様のご厚情の表れと、感謝の気持ちを新たにしております。

歯科医師となって20年少々となりました。20年ほどの間、周囲に迷惑もかけながらもそれなりに成ろうとして、やはり凡人であったことに最近気づいた次第です。

これからの歯科医師人生は目の前の人の役に立てるように心がけることにのみ力を入れ、この世界の片隅を少しでも明るくすることに努めます。

最後に私の座右の銘を。

「名を成すは毎に窮苦の日に在り、事の敗るは多くは志を得るの時に因る」

そうであるなと思ひ、そうでありたいなと思ひます。



読書

岡山市歯科医師会

池田 充宏 (36歳)



昔から読書は苦手だ。宿題はまじめにやる方だったが、本読みの宿題だけはやる気が起こらなかった。当然国語の成績も芳しくなかった。話は変わるが、「苛政は虎よりも猛し」「虎穴に入らずんば虎子を得ず」「虎視眈々」など「虎」を含む故事は現代にも残っている。近代日本にはトラは生息していないのに、これはとても興味深いことである。調べてみると、40万年前、日本大陸にもトラは生息していたらしいが、1～2万年ほど前には絶滅していたとのことである。つまり「虎」は文化の中で伝わったものであり、力(精力)や威厳(強健)の象徴として、親しまれてきたことが分かる。12支中の「寅」もその一つである。ちなみに「寅」は「木」の気を持ち、生まれ出るもの、動き始めるもの、顕現するもの、の意らしい。寅年に、文字の力をもっとも享受することが出来る読書を、月に1度行うべく、動き始めたい(歯科とは別の1冊で)。

初めての家庭菜園

玉野市歯科医師会 井上 輝 (36歳)



植物に全く興味がなかった僕が、何故か、コロナ禍ということもあったのか？人生初めてホームセンターの園芸コーナーに行ってみることに。すると、『超簡単らくらく栽培セット』という野菜の栽培キットを発見。小ネギと二十日大根。自宅で簡単に家庭菜園ができるのではと購入してみることに。説明書によると、付属の種を植え、水をやり、肥料を与えるだけみたい。これだったら、小学生の時にクラスでただ1人チューリップを球根のまま腐らせた僕にもできるかも！虫が付くのが嫌なので室内で育ててみることに。どちらも2,3日で発芽し、小ネギは背が伸び、二十日大根は双葉ができた！しかし、ここまでは順調でしたが、その後ネギは太くならず、二十日大根は茎がひょろひょろで葉も増えず……。原因を調べてみたところ、室内栽培の場合、日照不足で上手く育たないことが多いとのことでした。そこで、室内でも日当たりがいいところに移動してみることにしました。ちょっとまだ生育が怪しいですが、以前よりは育ちがいいような気がします。

今年は家庭菜園から作物を収穫できることを目標に頑張りたいと思います。

新年の抱負

津山歯科医師会 香山 祐樹 (36歳)



あけましておめでとうございます。

この度の「年男・年女 新年の抱負」執筆依頼をいただき、自分もそういった年齢になったことを改めて実感します。

開業して3年が経ち、日々の診療や環境にも少し余裕ができてきたように思います。歯科医師会の皆様方、医院スタッフのみんなや歯科材料店をはじめ医院をサポートしてくださる皆さま、家族や友人と、いつも支えてくれる周りの方々に感謝するばかりです。僕自身、まずは自分の身近な人達、周囲の方々を大切にする気持ちを忘れずに、日々過ごしていきたいと思います。

昨年は英会話も始めることができ、少しずつ趣味を増やしています。本年も楽しく充実した1年にできたらなとワクワクしています。

本年もどうぞよろしくお願ひ致します。



Monthly Dental News Review (209)

令和3年

11月15日(月) ▶ 歯科衛生士の半数超

「歯ぎしり等のニーズ増えた」

歯科衛生士の54%がコロナ禍以前と比べて「歯ぎしり、歯の食いしばり、マウスピース」のニーズが増えたと回答した。日本フィンランドむし歯予防研究会(羽村章理事長)が全国の歯科衛生士200人に行った「口腔ケアの実態調査」によるもので、「いい歯の日(11月8日)」に合わせて発表した。

調査は、10月15～31日にインターネットにより実施。

〈略〉

羽村理事長は、「歯ぎしり・歯の食いしばり、マウスピース」が増えたとする回答が5割を超えた点について、「在宅勤務の増加によるものだと考えられる」と考察している。「自宅でラップトップPCやタブレットを長時間操作すると、前かがみ状態になりやすく、咀嚼筋や頭頸部の筋肉に異常な筋活動を強いることによって、肩こりや腰痛、頭痛を生じるだけでなく、咬合にも影響を与えると考えられる」とし、「もちろん、食いしばりや歯ぎしりなどの原因になる可能性があるが、患者が増えたのではないか」とコメント。

16日(火) ▶ 日歯が公表 新感染症踏まえた診療指針の第2版

一般診療所における COVID-19 に対する行動フローチャート
 ※下記のいずれにも当てはまらない場合は、まず管理者に相談する。

日本歯科医師会(堀憲郎会長)は、「新たな感染症を踏まえた歯科診療の指針」の第2版をホームページで公表した。昨年8月に第1版を取りまとめたから1年が経ったことを受けて見直した。11日にニュースレターで紹介した。

日歯は、次々と報告される変異株への理解や、自粛による在宅生活だけでなく自宅療養感染者が増えたことに対して、口腔健康管理の重要性を示し、徹底を促すことを大きな課題と認識している。指針の見直しでは、そのような課題の視点を盛り込み、新たに「スナップを含めた体調不良者への対応フローチャート」(左図)を掲載。変異ウイルスや治療薬、ワクチン、換気、自宅療養者や待機者の口腔健康管理などについても記載しているという。

26日(金) ▶日歯の堀会長 岸田総理と会談認識の共有確認

日本歯科医師会の堀憲部会長は、岸田文雄総理大臣と24日に会談したと報告し、「これまで日歯と国が共有していた歯科医療政策に変わりがないことを確認した」と明かした。25日の定例記者会見で述べたもの。

堀会長は、岸田総理の今後の医療政策、社会保障政策の方向性を聞いた上で、「歯科医療、口腔健康管理の充実を通じて、健康寿命の延伸を図り、元気な高齢者を増やして、働き手を確保することで、人口減少問題にも対応していくことを申し上げ、これが人への投資につながり、『新しい資本主義実現会議』の提言等にも共有できることを確認した」と報告。

昨春秋に取りまとめた「2040年を見据えた歯科ビジョン」も総理に渡したことや、新型コロナウイルス関連の取り組みも伝え、「現場の歯科医師やスタッフに元気が出る支援をお願いした」と振り返った。

30日(火) ▶認知症保険 歯の健康度で保険料引き

ネオファースト生命 12月から

「歯の健康度」によって保険料を引く認知症保険「認知症保険t0スマイル」がネオファースト生命(本社・東京都品川区、徳岡裕士社長)から12月1日に発売される。「歯の健康度」による保険料割引は、保険業界では初という。

同保険は、認知症と診断され、要介護1以上と認定された場合に保険金が支払われるもの。40歳から契約でき、70歳になった年に永久歯が20本以上残っていれば、以後の保険料を1〜3割程度割引く仕組み。

〈略〉

同社では、認知症も「歯の健康」との関連が深い疾病の一つであることから、「歯の健康」の維持・改善で認知症の予防、生活の質の改善につなげてもらうよう、「歯の健康度」による保険料割引の仕組みを導入したとしている。

12月7日(火) ▶広告可能な歯科専門領域

新たな認定は来年秋を予定



- 口腔機能は健康寿命に直結！ 全身運動で予防、食事の強化も必要 (夕刊フジ/12月4日)
- 治療費水増し請求の疑い 歯科医師の男を再逮捕 (テレビ静岡/12月1日)
- 有志が「きぬた歯科」の看板広告でカードゲーム製作 「本当に神経が衰弱する」と話題に (みんなの経済新聞/12月2日)
- 首相の資金力突出 菅、安倍両氏を上回る (日本経済新聞/11月27日)
- 歯科医が診察再開 両者の思い交わる日は 市立病院の免職問題 (朝日新聞DIGITAL/11月30日)
- 11月28日は「いい唾液(つば)の日」 神奈川歯科大副学長が登録 (神奈川新聞/11月29日)

8日(水) ▶次期診療報酬改定

支払側「引き上げる環境にない」
診療側「プラス改定しかない」

中医協の第503回総会が8日、オンライン上で開かれ、令和4年度診療報酬改定に関する支払側委員、診療側委員それぞれから意見が提出された。支払側は、「国民皆保険制度の長期的な持続可能性を高めつつ、医療提供体制を新興感染症にも強い効率的・効果的な仕組みへ再構築することや、高い水準の自然増を考えば、令和4年度は診療報酬を引き上げる環境にない」と指摘。診療側は「国民の安全を守るためには、地域の医療と医療従事者を支える適切な財源が必要」として「プラス改定しかあり得ない」と訴えた。

第3回 社会保険部検討委員会報告

令和3年11月6日(土) 16:00～19:00

1. 報 告

- (1) 10月 新入会員 2名
- (2) 審査委員・検討委員連絡協議会 10月2日(土) 18:00 もも丸ホール
- (3) 中国四国厚生局岡山事務所と面会 10月7日(木) 17:00 田頭 常務理事, 後藤 理事, 佐伯 理事
- (4) 令和3年度 社会保険指導者研修会 10月8日(金) 13:00
 YouTube: 田頭 常務理事, 佐伯 理事, 東京: 石戸 参事
 YouTube: 支払基金 松三 副審査委員長, 国保連合会 後藤 歯科部会長
- (5) 支払基金 支部運営委員会 10月11日(月) 14:00
 - ・2021年7月診療分

前年同月対比	支払額	105.5%	件数	109.5%
前 月 対 比	支払額	99.6%	件数	102.1%
 - ・本人 レセプト1件当たりの平均点数

2021年6月診療	岡山県	1,407.0点	全国平均	1,329.5点
2020年6月診療	岡山県	1,430.3点	全国平均	1,379.8点
前年同月対比	岡山県	98.4%	全国平均	96.4%
 - ・家族 レセプト1件当たりの平均点数

2021年6月診療	岡山県	1,178.0点	全国平均	1,128.8点
2020年6月診療	岡山県	1,184.5点	全国平均	1,162.4点
前年同月対比	岡山県	99.5%	全国平均	97.1%
- (6) 令和3年10月保険医療関係機関連絡会議
 10月21日(木) 14:00 岡山県医師会館 後藤 理事, 佐伯 理事
- (7) 中国地方社会保険医療協議会 岡山部会
 10月25日(月) 13:30 田頭 常務理事 新規指定医療機関 1医療機関
- (8) 中国四国厚生局長 新任ご挨拶 10月28日(木) 16:00
 西岡 会長, 小見山 副会長, 木村 副会長, 南 専務理事, 田頭 常務理事, 後藤 理事, 佐伯 理事
- (9) 国保審査委員会報告 (レセプト1件当たりの平均点数)

2021年6月診療	国保	1,439.8点	後期高齢者	1,600.9点
2020年6月診療	国保	1,458.5点	後期高齢者	1,601.4点
前年同月対比	国保	98.7%	後期高齢者	99.97%
- (10) 社保相談窓口報告
- (11) そ の 他

2. 行事予定

- (1) 新入会員社保研修会 11月6日(土) 19:00 もも丸ホール 対象7名
- (2) 個別指導 11月11日(木) 14:00 702・703会議室 4医療機関(会員)
11月18日(木) 14:00 ピュアリティまきび 1医療機関(非会員)
- (3) 社保講習会
・大阪歯科大学岡山県同窓会 12月4日(土) 15:00 ホテルグランヴィア岡山 大塚 検討委員
- (4) 審査・検討小委員会 12月11日(土) 15:00 601会議室
1月8日(土) 15:00 601会議室
- (5) 第4回 検討委員会 12月11日(土) 16:00 もも丸ホール
第5回 検討委員会 1月8日(土) 16:00 もも丸ホール

3. 協 議

- (1) 「検討委員会からのお知らせ」について
- (2) 「そこが知りたいQ&A」について
- (3) 新入会員社保研修会について
- (4) 「診療報酬改定 地区講習会」について
- (5) そ の 他

～検討委員の独り言～

最近は全身との関連性を含む口腔ケアの重要性がクローズアップされてきました。コロナウイルス感染の入り口としての口腔との関わりも言われ始めています。この面から歯科の役割はますます重要になりそうですが、保険に(重症化)予防という言葉も導入されだしました。社保の立場からどういった取り組みができるのか興味を持っています。来年は保険改定の年です。今後の重要課題となる感染対策もどうなるのか注目です。

(新見歯科医師会 森下徹也)

令和3年度 新入会員社保研修会

上記研修会が令和3年11月6日(土) 県歯会館2階もも丸ホールにて午後7時より午後9時半まで開催されました。

当日は5名の先生方が出席し、社会保険診療指導必携（令和元年6月版）および新規個別指導対策に特化したスライドを使って、保険診療の基本的ルール、個別指導、カルテ記載上の留意事項、保険請求のポイント等について説明を受けました。

その後、個別面談方式に移り、出席の先生と担当の検討委員により、持参していただいたカルテ、患者提供文書、技工指示書等を見ながら指導と質疑応答が行われました。出席された先生方にとって疑問点の解消、新しい発見等、有意義な研修会となっていれば幸いです。

日々の診療での保険請求についての疑問点はもちろん、個別指導に対する不安などございましたら、当日担当になった検討委員や地区歯科医師会の検討委員へ相談したり、県歯の社保相談窓口をご活用ください。

なお「保険請求の手引 令和2年度版」は、青本の内容を出来るだけ分かりやすいようにまとめており、摘要欄、カルテ、レセプト等の記載内容も充実させたくえ、県歯注釈として点数算定の留意点、疑義解釈の決定事項等も記載しており、診療に大変役立つ内容となっています。また巻末には「施設基準」「診療録及び診療報酬明細書に使用できる略称」「摘要欄記載要領」「労災保険の取扱い」「ブリッジの最少支台歯数による設計」も掲載しています。新入会員の先生方はもちろん、会員の先生方も是非ご活用ください。

(検討委員 近常 正)

医療法人設立認可申請の提出期限及び事前相談について

標記について、岡山県保健福祉部医療推進課長より通知がありましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

令和4年度 第1回

事前相談に係る相談用申請書	提出期限	2月18日(金)
本申請に係る申請書	提出期限	4月18日(月)

令和3年度 日本歯科医師会生涯研修セミナー



令和3年10月31日(日) 日本歯科医師会生涯研修セミナー（岡山開催：Aチーム）が開催された。コロナ禍のため講師の野村武史先生，今村佳樹先生は東京の日歯本部よりリモート講演，聴講者も会場は人数を制限し，Zoomを使ったハイブリッド形式での開催となった。

さらに今回はサテライト会場（香川県，徳島県，愛媛県，高知県，広島県，鹿児島県）とZoomで結び，さらに中国地域（山口県，島根県，鳥取県）からリモート参加していただき開催するという初めての試みも行い，総参加数は404名という盛況ぶりとなった。

<第一講演>

「抜歯の臨床決断！ 超高齢社会に遭遇する全身疾患と歯科的対応」

野村 武史 先生（東京歯科大学教授）

従来は抜歯の禁忌症とされていた急性炎症中の抜歯，悪性腫瘍内の抜歯，放射線照射野内の抜歯，心筋梗塞発症後6か月以内の抜歯も医学の進歩により絶対的禁忌から相対的禁忌に変わってきたとのことである。

講演は各全身疾患毎に分類し，抜歯可能または抜歯を積極的に勧めるべきかを臨床決断する基準についてお話いただいた。

①要介護者や超高齢者の抜歯の臨床決断は，QOLの観点から決定する

- ・ 要介護者
- ・ 脳卒中発症後患者（片麻痺患者）
- ・ 認知症患者
- ・ 骨粗鬆症患者

②がん患者の抜歯決断

歯科医師や歯科衛生士による術前の口腔健康管理が重要である

③循環器疾患は要注意

- ・ 高血圧症患者における術中モニタリングが重要
- ・ 抗凝固薬による抜歯後出血に対する止血処置

④最近増加している呼吸器疾患

- ・ 慢性心不全患者が引き起こす恐れがある呼吸症状への備え
- ・ 在宅酸素療法を行なっているCOPD患者へのパルスオキシメータ等によるモニタリングと短時間での抜歯

⑤糖尿病患者のコントロール状態の把握

重度糖尿病患者においては内科へ対診し、場合によっては抜歯の延期を検討

⑥腎疾患

人工透析を受けている患者では透析翌日に抜歯

⑦消化器疾患, C型肝炎・肝硬変

内科主治医への照会の上, 血小板数低下による易出血性でないか等の確認

⑧副腎皮質ステロイド薬服用患者の抜歯

副腎皮質ステロイド薬の投与期間が長期でないか, 他に合併疾患がないか等を内科主治医に照会する。

最後に今後の課題として, 医科歯科連携のますますの充実が大切であることを強調された。すなわち入院患者は病院歯科で口腔管理(病院歯科完結型)が可能であるが, 退院後の口腔健康管理が不可能となる。退院後は一般歯科診療所に依頼し, 口腔管理を地域で診る制度を確立すること, この「逆紹介の推進」が今後のキーワードであるとのことでした。

かつては歯の保存が叫ばれた時代であったが, 「超高齢社会では生を守るために抜歯をする時代が来た」とおっしゃられたことがとても印象的だった。

(佐々木真一)

<第二講演>

「慢性口腔顔面痛の診断と治療」

今村 佳樹 先生 (日本大学歯学部教授)

日々の臨床に於いて急性疼痛を訴えて来院される患者さんを診断し, 治療をし, 適切に処置されれば問題なく主訴は解決されることがほとんどである。しかし歯科治療だけでは解決しない痛みが存在するということから解説された。

まず口腔顔面痛の分類は, 器質的疾患の存在しない一次性の疼痛, 原因の存在する二次性の疼痛, それに特発性疼痛に分類できるとされ, 症例を交えつつ下記の症形について解説された。

①二次性口腔顔面痛

a) 侵害受容性疼痛

最も我々が診る機会が多いのが顎関節症であり、顎関節の触診時の圧痛閾値の低下、顎関節雑音の存在、それに同期した疼痛の出現、顎運動距離の減少をもって診断する。筋のストレッチやスプリントの使用が有効とのことであった。

重篤な場合、関連痛を引き起こすことがあり、トリガーポイント注射などで関連痛の原因を診察診断する。

b) 神経障害性疼痛

神経繊維の障害により発生する疼痛、外傷やウイルス感染（帯状疱疹など）により引き起こされる。

②一次性疼痛

動脈の圧迫等原因があるが、一見原因疾患が不明に見える口腔顔面痛と特発性口腔顔面痛がある。

このうち特発性口腔顔面痛には舌痛症が挙げられる。

脳には本来痛みの調整機能が備わっているが、繰り返し痛みが起きると、この調整機能が不全となり慢性痛へと至る。

慢性口腔顔面痛の治療にあたって完全に痛みを除去することを目標とはしないとのことで、痛みの為つつい内向的となる患者の視線をより良い人生へと向けてもらうことでの改善を目指すとのことであった。

そして患者に取り入れてもらう自律訓練法としてマインドフルネスがあり聴講者にその一端を実習して解説された。

最後に先生は今、歯科に求められていることは、噛むという基本的な機能だけでなく、口腔のもつ総合的な機能の質をより高めていくことであると言われたことが心に残った。

(宮尾泰廣)

今回の日本歯科医師会生涯研修セミナーを通じて改めて気付かされたことは、自分で抱え込まず、必要であれば高次機関に紹介する、または医療連携の道を探ることの大切さであった。そしてその判断を行うためには広い知識を研修で吸収するべきであるということであった。

岡山県歯科医師会 口腔がん研修会

(併催：岡山市歯科医師会 第9回口腔がん検診研修会)

標記研修会を下記の日程で開催いたします。万障お繰り合わせの上ご参加くださいますようお願い申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、ホールでの受講に加えZoomによるWeb配信も行います。同封の申込用紙にて所定の方法でお申し込みください。

日 時：令和4年2月19日(土) 19:00～20:30

会 場：岡山県歯科医師会館 2階 もも丸ホール及びZoomによるWeb配信

演 題：「口腔がん診断のポイントと前がん病変（口腔潜在的悪性疾患）への対応」

締 切：令和4年2月5日(土)

講 師：佐々木 朗 先生

(岡山大学学術研究院医歯薬学域口腔顎顔面外科学分野教授)

【講師抄録】

国民の健康に関する意識、特に食生活に通じる歯や口腔粘膜の健康への関心は高く、日常臨床においても口腔粘膜異常や口腔乾燥、味覚障害、舌痛などを訴える患者が増加しています。日本人の死亡原因の第一位ががんであることから、口腔がんに対する患者の認知度も上がっており、生命予後に関わる問題だけに歯科医師も注意深く対応して行く必要があります。そういった背景からこれまで歯科医師会の先生と連携して研修会や講演会、イベント検診などを進めて来ましたが、会員の皆様は、口腔がんの早期発見の重要性は十分にご理解頂いているものと思いますが、我が国では口腔・咽頭がんの発症率が2%程度のため、実際に口腔がんに遭遇する機会はそれほど多いわけではありません。そのため臨床現場では診断に苦慮する症例も多く、他の粘膜疾患との鑑別や前がん病変の経過観察中の癌化に対する不安もあるかと思えます。

今回の研修会では、総説的な話は少なくして、日常の歯科診療の中での口腔がん検診における診察のポイントならびに前がん病変（口腔潜在的悪性疾患）に対する取扱い、注意すべき鑑別疾患などについて症例を中心により実践的なお話をさせて頂きたいと思えます。また、新たな口腔がんの診断技術に関連する話題についても触れたいと思えます。

第85回 全国学校歯科保健研究大会がWeb開催

令和3年10月21日(木)、22日(金)日本学校歯科医学会主催の第85回全国学校歯科保健研究大会が東京都学校歯科医学会の担当で開催されました。主題は「生き抜く力をはぐくむ歯・口の健康づくりの展開を目指して」、副題を「学校での新しい生活様式」とし、1日目の開会式、表彰



式、シンポジウムは有楽町朝日ホールよりライブ配信。2日目の領域別協議会は幼稚園・保育所、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の5部門に分かれオンデマンド配信されました。コロナ禍においてはじめての試みでしたが、参加者数は約2,800名となり、例年の3倍となりました。

1日目は全国学校歯科保健優良校の表彰式の後、東京芸術大学教授の布施英利先生が「芸術と解剖の間に」と題して講演。ダビンチの絵画における解剖学的考察や人間の内臓と心との関係など引き込まれるお話でした。シンポジウムでは東京歯科大学内科教授の寺嶋毅先生が「COVID-19流行下における歯・口の健康づくり」と題して講演され、COVID-19の感染様式の仕組みやその対策について専門の立場から解説され、しばらくはワクチン接種と感染対策の併用が必要でマスク着用は有効な対策であり、口腔内を清潔に保つことはマスクによる弊害を予防し、ウイルス感染への防御を高める可能性があるともまとめられました。その後、日学歯副会長の柘植紳平先生を座長とし、文科省初等中等教育局係長の馬場久美子氏、全国養護教諭連絡協議会会長の小林幸恵氏、日学歯理事の私がそれぞれの立場で学校での新しい生活様式における取り組みについて発表し、討論を行った。コロナ禍で学校での歯みがきも中止されたところもあるが、口腔の衛生も感染予防には重要であり、怖いからやめるのではなくこの状況下で子供たちが自ら考え行動をとれる環境を作ることも大切で、文科省の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」に沿って学校と連携した学校歯科医の行動が大切と思われました。例年は懇親会が大々的に開催されご当地のお酒なども楽しみなのですが今回はありませんでした。来年度は山梨県開催です。どのような開催になるかわかりませんが、多くの学校歯科医の先生の参加を期待したいです。

(参事 柴田 宏)

第71回 全国学校歯科医協議会

令和3年10月28日(木)、岡山県歯科医師会主催の第71回全国学校歯科医協議会が行われた。本協議会は毎年、文部科学省、各県教育委員会等が主催する全国学校保健・安全研究大会に合わせ、都道府県歯科医師会主催、日本学校保健会共催で開催されている。今回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当日はWeb配信で開催し、翌日から1週間YouTubeにて視聴できる完全なWeb開催という形式を採用した。後日YouTubeにて視聴できることもあってか、申し込み人数は県内外310名で、当日も約200名の参加があり、YouTubeの視聴も約550回となった。



本協議会は西岡宏樹県歯会長の挨拶に始まり、講演Ⅰでは「子どもの口はふしぎでいっぱい」と題して国立モンゴル医学・科学大学歯学部客員教授 岡崎好秀先生が講演された。内容は、小児期の感染症



は減少したが代わってアレルギー疾患や心の病が増加してきた。口腔領域においても、歯科検診を行うとごく少数であるが生活習慣や家庭環境に起因すると思われる多量の歯垢の付着や多数の重度う蝕を有する生徒がいる。また、思春期う蝕、不正咬合の増加、口腔機能発達不全など数えればきりが無い。今回は子供を取り巻く環境の変化と口腔との関係について考えてみたい。というものであった。

講演Ⅱでは「大学生の歯・口の健康に関わる要因」と題して岡山大学大学院医歯薬総合研究科予防歯科学分野教授 森田 学先生が講演された。内容は、大学入学時、卒業時に歯科検診を行い、その検診結果と大学生の生活習慣や生活環境の変化がどのように影響しているのかを示し、それを踏まえて高等学校卒業までのアプローチにつながれば、というものであった。



今回は完全Web開催という形式をとり、感染拡大防止という目的に加え、時間があるときに再視聴ができたことで平日開催にも関わらず参加しやすかったのではないかと思われた。今更ではあるが、対面での開催にはその会場の空気感が伝播される良さが、Web開催ではネット環境さえ整えば多くの参加者の貴重な時間や場所を拘束しないという良さがある。今後は開催日時によって積極的なWeb開催も選択肢に加えて、両者をうまく使い分けながら開催者も参加者も最大限利益を享受できればと改めて感じることができた。

(理事 土肥範勝)

歯科医療安全研修会

令和3年度歯科医療安全研修会を下記の通り開催致します。医療法により、歯科医療従事者に対する年2回程度の研修が義務づけられています。「安全・安心」の医療提供のために本研修会をご活用下さい。受講者には受講者氏名の記載された修了証を発行します。本研修会の受講医療機関名は、岡山県庁ホームページに掲載されます。

- 日 時 令和4年2月13日(日) 10:30 ~ 12:30
- 場 所 岡山市民会館（岡山市北区丸の内2-1-1）
※駐車場はありませんので、周辺駐車場をご利用下さい
- 演 題 「歯科診療時に知っておきたいHIV感染症の知識」
川崎医科大学血液内科学 主任教授 和田 秀穂 先生
- 主 催 岡 山 県・岡山県歯科医師会
- 共 催 岡山県歯科技工士会・岡山県歯科衛生士会
- 対 象 会 員・スタッフ・医療従事者
- 受 講 会 場（先着350名）およびYouTubeで配信
(URLは県歯ホームページに掲載；2/21~3/31までの予定)
- 修了証 後日郵送（受講者全員）
- 申込み 同封の申込用紙に記入の上、FAXで申込み下さい

締切り 令和4年2月5日(土)

※新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、以下のご協力をお願いします

- ・発熱、体調不良等の症状のある方はYouTubeにて聴講
- ・入場時に手指消毒（アルコール消毒液を設置）
- ・マスクの常時着用
- ・ソーシャルディスタンスを保った着席

令和3年度 医療管理部新入会員セミナー

令和3年11月27日(土) 19時30分から本会会館もも丸ホールにおいて、令和3年度医療管理部新入会員セミナーが開催されました。本研修会は2019年(令和元年)4月1日から2021年(令和3年)10月1日までに岡山県歯科医師会に入会された先生を対象としており、本年度は33名の先生方にご参加いただきました。医療管理部正副委員長より「院内トラブル」「広告規制・定時報告」「立入り検査」「医療安全」「労務管理」「業務範囲」のパートに分けて資料説明や事例紹介などが行われましたが、限られた時間の中でエッセンスのみをお伝えするのが精一杯であり、十分に説明し切れない部分もあったと思われます。それでも参加された先生方は真剣にメモを取りながら最後まで一生懸命聴講くださいました。短時間の研修会でしたが、研修会終了後には事例を踏まえた質問もいくつかいただき、新入会員の先生には学術講演会とは違った医院運営に必要な知識の再確認の場になったのではないかと思います。今回使用しました資料は、会員の先生には既にお配りしております「院内トラブル対策読本」「医療広告作成ガイド」「歯科医療安全マニュアル(立入検査への対応)」「医療安全管理必携」「歯科医院の労務管理ポイント22」などとなります。医療管理部では法改正などに合わせ、変更点があれば随時新しい情報の発信に努めておりますが、今一度お時間のある時にこれら資料に目を通していただき、疑問点やお困りごとがありましたら何なりとお問い合わせいただければ我々が迅速に対応いたします。昨年からのコロナ禍におきましては医院運営の中で多くの事務手続き等、会員の先生方には診療以外のご苦勞が重なっていることと思います。少しでも分かりやすく簡潔に情報をお伝えできるよう努力して参りますので、今後も医療管理ニュース等注視いただければ幸いです。

(理事 本多浩三)



令和3年度 歯科医療関係者感染症予防講習会



2021年12月5日(日) 県歯会館にて令和3年度歯科医療関係者感染症予防講習会が開催されました。

本講習会は厚生労働省の「歯科医療関係者感染症予防講習会実施団体公募要領」に基づき、日本歯科医師会が受託し岡山県歯科医師会協力の下にHIVウイルスやHBVウイルス、新型コロナウイルス等の特徴を踏まえた院内感染対策、歯科医療及び歯

科衛生の安全を図ることを目的として実施されました。

講師の大阪労災病院歯科口腔外科部長・吉岡秀郎先生には感染対策に配慮し、大阪からリモートにて「歯科診療に係る院内感染対策について」というテーマで以下の内容についてご講演いただき、会場での参加者の密を避けるため、もも丸ホール(94名)とサテライト会場の702・703会議室(19名)に分散し、合計113名での実地開催となりました。

- * 法律によって定められている感染症の分類とその事例
- * 標準予防策としての手洗い、手袋の着け方と外し方と交換のタイミング、ビニールエプロン・サージカルマスク・ゴーグルの着け方と外し方、個人防護具の外し方の順序
- * 切創・針刺しの事故防止とその対応
- * 歯科治療器具・機材の消毒と滅菌における注意点
- * 感染性廃棄物の分類と破棄の方法、印象体や補綴模型の消毒の方法
- * ノロウイルスの特徴と事例
- * 薬剤耐性菌 AMR (Antimicrobial Resistance) の種類とその対策
- * 新型コロナウイルス感染症について

様々な感染症に曝露するリスクが高い我々にとって、普段行っている院内感染対策を改めて見直す良い機会となり、定期的に予防感染講習会に参加する必要性を強く感じました。

※途中機器の不具合によりリモートでの講演が中断するなどご参加いただきました先生方にご迷惑をおかけしましたことをこの紙面をお借りしてお詫び申し上げます。

(副委員長 浜崎健介)

「チタンクラウンセミナー 知って得するパラ高騰の救世主」 ご 案 内

長引く金パラ価格の高騰は保険医の大きな悩みの一つだと思います。

2020年6月よりチタン冠が全ての大白歯に保険適応されました。チタンは硬くて調整しづらいというイメージがありますが決して硬くはありません。また金属アレルギーを起こすリスクが低いこと以外にもメリットがあります。大きな重量のある鑄造冠でもストレスなく製作できるチタン冠を見直すべく、今回は下記内容にて学術セミナーを企画しました。会場では実際のチタン冠を用いて削合・研磨の実習ができます。是非奮ってご参加ください。

日 時	令和4年2月5日(土)	19時30分～21時
会 場	岡山県歯科医師会館	7階 702・703会議室
演 題	「チタンクラウンセミナー 知って得するパラ高騰の救世主」	
講 師	和田精密歯研(株)クラウンセンター綾上 石川 聡 先生 (Web講演)	
対 象	女性会員	
申込締切り	令和4年1月21日(金)	

※コロナウイルス感染拡大状況によってはZoomによるWeb配信に変更することがあります。

※参加希望の方は県歯事務局まで、①お名前 ②所属地区 ③2/5女性歯科医の会セミナー
④Web配信に変更になった場合の参加の有無をメール (Web配信の場合の受講用アドレス) か
FAX返信用紙にてお申込みください。

Mail akiyama-office@oda8020.or.jp

FAX (086) 224-8561 (事務局担当 秋山)



※実習用のグローブを一通り用意しますが、気になる方はご持参ください。

※日歯生涯研修事業ICカードをご持参ください。

勝英歯科医師会

ランチプロジェクト（美作地区 大原地区）

令和3年10月3日(日)と11月7日(日)にそれぞれ美作地区と大原地区で10歳児までを対象にランチプロジェクトが行われました。昨年はコロナ禍のため1回のみで開催となりましたが、今年は緊急事態宣言もあけ、第5波が落ち着いた中での開催となり、美作地区では37名、大原地区では33名の参加がありました。

例年通り、岡山県衛生士会衛生士による歯の講話から始まり、歯科医師による歯科検診と歯並びの相談、口腔内写真撮影、口臭測定、位相差顕微鏡によるプラークの観察、そしてブラッシング指導とフッ素塗布を行いました。参加の子供たちは5歳までの割合が多く、むし歯や歯肉炎は少なく、この時期から歯列を気にされている父兄のかたも多くおられました。その中には、矯正が必要で診てもらったことがあるけれど、今の自分の矯正の知識が正しいか確認したいという方もおられ、日々変化している医療にアンテナを張っておられるようでした。問診でも仕上げ磨きの意識が高く、フッ素入りの歯磨剤を使用している方が大半でした。

むし歯予防の意識が高まり低年齢からの歯科受診が増えていますが、1歳半、3歳児健診後、歯科を受診する前の1歩として気軽に参加でき、また親子のイベントとして利用してもらえることがランチプロジェクトの大きな意義であると思います。

(モニター 伊藤美知子)



「コロナ禍での息子の運動会」

児島歯科医師会 平川 聖

昨年は、コロナの大流行により色々と自粛を余儀なくされた年でした。そんな中、息子の幼稚園最後の運動会も色々と制約があったものの無事に執り行うことが出来ました。いつもなら家族総出でカメラ片手に子供の勇姿を撮影する親で溢れかえっている園庭ですが、コロナ禍ではマスク着用のもと大きな声を出さないよう静かに観覧という、今までにはない異様な光景が広がっていました。

思い返せば30年前、同じ園舎で学び同じ園庭にて運動会に出ている記憶がよみがえります。当時、私を担当してくださった先生方も未だに現役でいらっしゃる、代が替わって自分の子供を見ていただいていると思うと、とても感慨深いものがあります。

さて、運動会といえば様々な種目がありますが、その中でも一番の醍醐味と言えりレー競争です。私が小さい頃は、リレーがあまり好きではなかったのですが、自分が親となり我が子の運動会を見る側となると、やはりリレー競争が一番見ていて盛り上がります。

周りの子の足が速い遅いはさておき、やはり我が子が一番になって

欲しいという親としての願いはあります。先頭を独走したり前の走者を追い抜いたり、見せ場を作ってくれると親としてはどんなに嬉しいことでしょうか。ですが、いざ我が子の番になるとバトンの受け渡しに「ドキドキ」、走行中に転んだり他の子とぶつかってケガをしないか「ヒヤヒヤ」する思いで見守ります。無事に一周走り切った我が子を見て胸をなでおろし、その達成感のある顔を見ていると、ついこちらも自然と笑顔になってしまいます。

この運動会を通じて自分が親になり、親の目線で子供の運動会を観覧していることに気付かされ、よくぞここまで大きく育ってくれたと思うと同時に、私を親として成長させてくれた息子に感謝する一日でした。



今回は 赤木秀瑛 先生（倉敷歯科医師会）をご紹介します。

「一期一会」

岡山市歯科医師会 松島 章子



多くの車や人が行き交う岡山市北区の青江交差点。そこに立つ医療ビルの2階に「まつしま歯科」を開業させたのは2019年6月のことでした。所属する岡山大学歯学部同窓会県支部のつながりの中で、引退とともにクリニック譲渡を検討している先生がおられるとの話をいただいたのがきっかけでした。大学卒業後、特に開業を視野に入れていたわけでもなく勤務医として

目の前のことだけで精一杯であった自分に、重責を担えるかどうか不安だったものの、その先生をはじめとした先輩方のサポートがあり、何とか開業にこぎつけることができました。

開業から半年で、想像だにしなかった新型コロナウイルス禍に直面しました。この先、どうなるのかと不安や焦りばかりが募った時期もありました。こんな状況下でも周囲のサポートで何とか今日まで曲がりなりにもやってくることができました。これらはひとえに歯科医師会の先生方や大学の先輩、職場のスタッフ、家族ら周囲の人たちのおかげだと思っています。まさに「一期一会」だな、としみじみ感じております。

プライベートでは小学生の息子の母親として多忙な日々を過ごしています。そんな中、癒してくれるのが愛犬のトイプードルのコージーです。思い返せば11年前、ホームセンターのペット売り場のゲージの中で、「クゥーン」と鳴きながらこちらを見つめてきたのがコージーでした。子犬としては少し大きくなった生後4カ月でしたが、あまりに可愛く、その場で連れて帰ったことが始まり。今ではすっかり家族の輪の中心です。思えばこれも「一期一会」なのでしょう。

最近は少し困った「一期一会」も。先日、新型コロナが少し落ち着いたこともあり、冷やかし程度と想っていた某デパートの催事。目を奪われたのがショーケースの中で照明を浴びて燦然と輝くピアスでした。店員からは「この機会を逃すと・・・」との決めゼリフ。「これください!」と言っている自分がいました。そんなこんなでクローゼットには服や物がひしめいています。

それでも私は「一期一会」という言葉が好きです。全てが当たり前ではないということを経験した今、日々の出会いを大切に、感謝の念を抱きながら、自分なりのペースで人生を歩んでいけたらと思っています。もちろん、素敵なお話との出会いも含めてのお話です・・・。

高齢者歯科学実習



学院3年生は例年10月に高齢者施設において2日間の学外実習を行っています。高齢者施設の臨地実習の場では、施設における高齢者の日常生活を直に触れ、高齢者に直接接することで、高齢者を取り巻く環境や、心理などを学ぶ場所となっています。また、学院講師における入居者の口腔診査を通して要介護高齢者の口腔内や摂食嚥下の状況を把握し、2日間の実習の間に個々のADLなどの生活状況等の情報を収集し、その情報の下、様々な媒体を使用し個別や集団指導等を実際に行っています。それによっていかにすれば要介護高齢者の口腔機能及びQOLの向上を図れるかを学ぶ場所にもなっています。学生にとっては卒業後、歯科衛生士として臨床の場に立つために重要な臨地実習となっています。

残念ながら、昨年度、今年度とコロナ禍のため、この高齢者施設における学外臨地実習等が中止となりました。この臨地実習の代わりとして、昨年度は、学内にて高齢者施設、訪問歯科診療のビデオ視聴や本会訪問歯科診療機器を使用し使用法等の実習を行いました。今年度は、訪問歯科診療機器の使用法に加え、摂食嚥下障害の評価法及び摂食嚥下機能訓練を行い座学で学んだ知識を実際に行うことで技術を確実に習得できるように指導しています。とはいえ、座学や教材を使った実習のみではなく本来の臨地実習から学生が得るものは大きいと思います。早期にこのコロナ禍が収束し、学生が実際に高齢者と接し、そこで勤務する様々な職種の方々の現場での声を聴ける臨地実習が再開できることを願っています。



近年、超高齢社会における歯科衛生士の役割の重要度が、増すにつれ歯科衛生士国家試験において、高齢者関連の臨床的な設問が数多く出題されるようになってきています。来春、学生皆が、この国家試験を無事突破し、患者さんに寄り添える歯科衛生士となることを願っております。

(高齢者歯科学講師 黒木祐二)

【11月学生教育・行事】

11月16日 第2回全国模試・3年生(62期生)
11月30日 臨床実習終了・3年生(62期生)

【12月学生教育・行事】

12月1日～ 国試対策補習講義開始・3年生(62期生)
12月2日 アース製薬セミナー・2年生(63期生)
12月6日 第3回全国模試・3年生(62期生)
12月10日 後期末試験(手話)・1年生(64期生)
12月11日 一般入試A日程
12月13日 第5回校内模試・3年生(62期生)

後期高齢者組合員の補助制度

後期高齢者組合員の医療保険給付は、後期高齢者医療制度の対象となりますが、歯科医師国保には別途様々な補助制度があります。申請が必要ですので、申請漏れがないようにお願いします。

健康づくりのために、ぜひご活用ください。

①	傷病見舞金	入院1日につき 4,000円（年度間90日限度）
②	節目健診補助金	(1) 5歳ごとの節目の年齢に達する後期高齢者組合員 (2) (1)で対象になった後期高齢者組合員の配偶者で全国歯に加入している方
③	インフルエンザワクチン 接種補助金	3,000円を限度
④	生活習慣病健診補助金	6,500円を限度 ※淳風会での健診は申請不要
⑤	死亡見舞金	後期高齢者組合員が死亡した場合、遺族に対して支給 300,000円

※ ご不明な点は、歯科医師国保事務局までお問い合わせ下さい。

第2回 岡山済生会総合病院 医科歯科連携推進研修会 開催のご案内

今回は、歯科医師を交えた多職種による化学療法と口腔管理について、講義と「化学療法開始前の歯科治療どこまでやるべき？化学療法中の歯科治療どこまで大丈夫？」のテーマでディスカッションを予定しております。

テーマ『化学療法と口腔管理』

■日 時：令和4年2月17日(木) 19:00～21:00

■対 象：歯科医師・歯科衛生士・その他医療従事者

■参加費：無 料

■申込み：令和4年2月10日までに、職種・氏名・医療機関名・メールアドレスについて記載し、担当者 歯科衛生士 園山 アドレス (dental@okayamasaiseikai.or.jp) までメールでお申込みをお願いいたします。開催前日までに視聴方法をお送りいたします。

新入会の正会員の先生を紹介するコーナー

新人です…よろしくお願いします。

おぎの たかみち
荻野 崇真



経歴・職歴

玉島歯科医師会
のぞみデンタルクリニック
〒713-8102 倉敷市玉島1701-7
TEL (086) 454-7251 FAX (086) 454-7252
生年月日 昭和56年7月22日 (40歳)
出身大学 東京歯科大学歯学部

2010年3月 東京歯科大学歯学部 卒業
2011年4月 東京歯科大学大学院歯学研究科 老年歯科補綴学講座 入学
2015年3月 東京歯科大学大学院歯学研究科 老年歯科補綴学講座 修了
4月 藤関歯科医院 入職
2019年7月 藤関歯科医院 退職
8月 正島歯科医院 入職
2021年11月 正島歯科医院 退職
2022年1月 のぞみデンタルクリニック開設
現在に至る

入会日

令和3年11月1日

趣味

水泳, 釣り

抱負

地域医療に貢献できるよう, 微力ながら日々の臨床と歯科医師会の活動支援に励みたいと思います。ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

お知らせ

日曜・祝日の開館予定日

○ 開館予定 × 閉館予定

1月	1日(土)~3日(月)	9日(日)	10日(祝・月)	16日(日)	23日(日)	30日(日)
	年始	×	×	×	×	×
2月	6日(日)	11日(祝・金)	13日(日)	20日(日)	23日(祝・水)	27日(日)
	10:00~14:00	×	×	×	12:00~17:00	×

※行事等の都合により変更となる場合もあります。 ※詳細については事務局にお問合せ下さい。



訃

報



故 兎山 泰久 先生

享年87才（令和3年11月5日ご逝去）

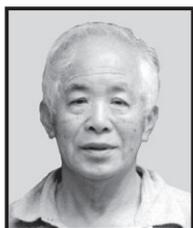
（自）岡山市南区福浜町20-12



故 片山 豪也 先生

享年67才（令和3年11月14日ご逝去）

倉敷市児島穉田町1746



故 小坂 芳彦 先生

享年78才（令和3年11月24日ご逝去）

（自）岡山市北区一宮35-4



故 黒田 昌男 先生

享年98才（令和3年11月25日ご逝去）

岡山市北区御津金川984



故 北山 成志 先生

享年89才（令和3年11月27日ご逝去）

岡山市北区御津野々口1188

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます

会員異動

11月末日現在 正会員数1,031名

◎新入会（詳細は新入会員紹介のページで）

荻野 崇真 正会員 玉 島 P37

◎診療所の移転

洲脇 安雄 正会員 岡山市 P15

洲脇 紀子 “ “ “

[新] (診) 〒700-0087

岡山市北区津島京町3-1-29

◎死 亡

北山 成志 正会員 御 津 P24

黒田 昌男 正会員 御 津 P24

小坂 芳彦 正会員 御 津 P25

*令和3年11月版 会員名簿の訂正について

P 1 岡山県歯科医師会役員

沼本 庸子

電話番号 (正) 086-953-1441

P 2 岡山県歯科医師会顧問 参与・正副議長

東原 慶和

FAX (正) 086-454-4881

P11 岡山市歯科医師会

岸本 俊彦

連絡先住所

(自) 岡山市東区可知1丁目62-1

TEL 086-943-5161

FAX 086-943-5161

P16 岡山市歯科医師会

田中 久典

連絡先住所

(自) 〒703-8235

岡山市中区原尾島4-21-25

TEL 086-272-2810

FAX 086-272-2117

ここに訂正し、お詫び申し上げます。

(P = 会員名簿のページ)

1月の収納金

1. 本 会

(1) 診療報酬割会費 (社保, 国保10月診療の窓口分を含む総診療費の $\frac{2.8}{1000}$ を控除)

2. 全国歯科医師国保組合

(1) 収入割, 均等割保険料調定額

(2) 収入割保険料 (令和2年支払いの窓口分を含む総診療費の $\frac{6.5}{1000} \times \frac{1}{12}$)

3. 日本歯科医師会

(1) 年金保険料 (2月分)

(2) 福祉共済保険料 (2月分)

11月 会の動き

- | | | | |
|-----|--|-----|--|
| 1日 | 総務部調査事業部会委員会
IT推進委員会
岡山県歯科衛生士会「在宅歯科医療等に従事する歯科衛生士研修会」(~30日YouTube配信) | 15日 | 学術部正・副委員長会
都道府県歯科医師会専務理事連絡協議会 |
| 2日 | 公衆衛生部正・副委員長会 | 17日 | 都道府県歯科医師会専務理事連絡協議会
(Web会議)
医療管理部正・副委員長会 |
| 4日 | 岡大 佐々木教授と面会
ジャパン保険と面会(公衆)
第17回理事会
編集委員会(集稿) | 18日 | 岡山県警「検視実務専科」
ジャパン保険岡山と面会(公衆)
ホームページ(業者)プレゼン
岡山県ワクチン対策室と面会
第19回理事会
編集委員会(二校) |
| 5日 | 学院 規約改定委員会 | 21日 | 令和3年度日歯生涯研修セミナー(四国地区) |
| 6日 | 社保 審査・検討小委員会
社会保険部検討委員会
岡山県歯科技工士会「令和3年度歯科技工士資質向上講習会」
新入会員社保研修会
岡山女性歯科医の会学術セミナー「今さら聞けない、でも聞きたいインプラントの話」 | 25日 | 岡山県立倉敷天城中学校第1回地域推進委員会
日歯理事会
第20回理事会
常務理事会
編集委員会(終校) |
| 8日 | 支払基金 支部運営協議会
本会・IT(ホームページ検討)合同委員会 | | 国保組合 令和3年度「コンプライアンス研修会」及び「健康づくり推進部会」(Web会議) |
| 9日 | 岡山県健康づくり財団設立30周年記念式典・記念講演
岡山県国民健康保険団体連合会理事会
学術部図書委員会
社保研修会 | 26日 | 都道府県歯科医師会事務長事務連絡会
(Web会議) |
| 10日 | 日学歯理事会 | | 中国地方社会保険医療協議会岡山部会 |
| 11日 | 広島国税務局管内税務指導者協議会
(Web会議)
岡山県学校保健会と面会
岡山県歯科保健優良校表彰審査会
第18回理事会
編集委員会(初校) | 27日 | 岡山救急医療研究会 令和3年度幹事会・学術集会
医療管理部 新入会員セミナー |
| 12日 | 総務部調査事業部会委員会 | 28日 | 障害児の摂食嚥下障害への対応研修会 |
| 13日 | 「前執行部慰労会」「表彰受賞者祝賀会」 | 29日 | 令和3年度岡山県後期高齢者医療広域連合運営審議会 |
| 14日 | 倉敷歯科医師会「第45回歯の健康フェア」 | | 岡山県医療審議会(医療法人部会) |
| | | 30日 | 社会保険部研修会
学院 臨時教務会議 |

1月・2月 本会の予定

1月6日	津山歯科医師会新年互例会 編集委員会（集稿）	(Web会議) 学院 職員会議
8日	社保 審査・検討小委員会 社会保険部検討委員会 役員祝賀会	26日 日歯予算決算特別委員会 医療管理部会 編集委員会（終校）
11日	支払基金 支部運営協議会	27日 第27回理事会
12日	磁性アタッチメントセミナー	28日 学院 第2回学院監査・監事会
13日	第25回理事会 編集委員会（初校）	2月2日 令和3年度第2回岡山県自立支援協議 会医療的ケア児童支援部会
15日	岡山県医師会令和4年新年互例会 児島歯科医師会新年会 吉備歯科医師会新年会	3日 第28回理事会 編集委員会（集稿）
18日	令和3年度岡山県エイズ医療等推進協 議会	5日 令和3年度医療事故調査制度研修会 (Web会議)
19日	歯科医師認知症対応力向上研修会 医療管理部正・副委員長会	9日 岡山県国民健康保険団体連合会理事会
20日	岡山県後発医薬品の安心使用のための 協議会 令和3年度岡山県8020推進事業評価会 議及び岡山県歯科保健対策協議会 第26回理事会 編集委員会（二校）	10日 岡山県糖尿病医療連携体制検討会議及 び岡山県糖尿病対策専門会議（Web 会議） 第29回理事会 編集委員会（初校）
21日	学院 教務会議・第2回自己評価委員 会	13日 岡山県歯科医療安全研修会 (岡山市民会館)
22日	令和3年度災害歯科保健医療体制研修 会（Web会議） 玉野市歯科医師会新年会 赤磐歯科医師会新年会	17日 第30回理事会 岡山済生会総合病院 第2回医科歯科 連携推進研修会
24日	中国地方社会保険医療審議会岡山部会	18日 編集委員会（二校）
25日	令和3年度岡山県認知症対策連携会議	24日 令和3年度第34回中規模県歯科医師会 連合会 25日 編集委員会（終校）

1月・2月 地区歯科医師会の予定

1月6日	岡山市	三役会	28日	岡山市	理事会
	津山	定例会, 新年互礼会		倉敷	定例理事会
7日	児島	理事会		井原	臨時総会
11日	新見	理事会	31日	倉敷	監査会
12日	玉野市	理事会			
13日	真庭	例会	2月3日	岡山市	三役会
14日	岡山市	理事会		津山	定例会
	玉島	理事会	4日	児島	理事会
15日	児島	新年会	8日	岡山市	理事会
	吉備	新年会(予定)		新見	理事会
16日	倉敷	障がい者歯科トレーニングセミナー実習	9日	玉島	理事会
				玉野市	理事会
20日	倉敷	令和3年度倉敷市内歯科医師協議会訪問歯科セミナー「訪問歯科専門職種スキルアップセミナー」第4回	15日	真庭	理事会
			17日	勝英	定例会
21日	玉島	例会	18日	倉敷	定例理事会
	都窪	理事会		都窪	理事会
22日	玉野市	臨時総会, 新年会	22日	津山	理事会
	赤磐	新年会	23日	倉敷	介護保険セミナー(倉敷市内歯科医師会協議会)
26日	津山	理事会	24日	倉敷	令和3年度臨時総会
27日	倉敷	学術講演会	25日	岡山市	理事会
				都窪	定例会

* こちら編集室 *

神野 恵 「謹賀新年」

昨年夏以降、世界で検出される新型コロナウイルスのほとんどが感染力の強い「デルタ株」に置き換わりました。日本での急激な第5波の収束は世界中のメディアでも注目され、「摩訶不思議な成功」とまで言われており、その原因については専門家ですら首を捻っているみたいです。

しかし、突然現れた「オミクロン株」。これまでで最も感染力の強い変異ウイルスなのか、オミクロン株で第6波が起こる可能性はあるのか？

いつまで続くこのコロナ禍、今となっては完全収束なんてありえないとの思いが強まりますが、世の中が明るい方向へ向かうことを切に願っております。

本年も宜しく願い申し上げます。

■協賛 中国歯科用品商協同組合岡山県支部

(有) 飯田歯科商店 (有) イワサキ歯材
(同) オプテイ (有) 吉川歯科商店
クローズミ (有) 三和歯科材料
(有) 志茂歯科材料店 (有) 鈴木歯科商店
(株) トミヤ岡山支店 ナカヤマデンタルオフィス
(株) 三宅歯科商店 三宅歯科商店東店
(株) リンケージ藤波

株式会社 **マルミ** 歯科商店

高知本社	〒780-0833 高知市南はりまや町2-16-3	TEL:088-883-2201 FAX:088-883-4711
徳島支店	〒770-0846 徳島市南内町1-43	TEL:088-622-0816 FAX:088-623-5304
岡山支店	〒700-0808 岡山市北区大和町2-3-48	TEL:086-225-4378 FAX:086-222-0383
大阪支店	〒564-0051 吹田市豊津町15-27	TEL:06-6380-3831 FAX:06-6380-3775
香川営業所	〒760-0078 高松市今里町1-22-9	TEL:087-842-1839 FAX:087-842-1838
大阪南営業所	〒594-0023 和泉市伯太町2-2-3	TEL:0725-58-7254 FAX:0725-58-7255



SINCE 1943

下取 < 買取

涙



プロに相談しょ!

創業 1984 年のプロがお答えします。



クルマ売却のコツは、1にも2にも**適正な査定価格**を知ること。
 それには先ず比べること。根拠のない高価買取の言葉に惑わされないことです。
創業 1984 年の JCM は買取のセカンドオピニオンとして多くの実績を持っております。お気軽にお問い合わせください。



JCMが選ばれる5つのポイント

- ① **JCMは「創業 1984 年」**
クルマ販売が目的の下取りとは専門性が違います。
- ② **プロの査定士が適正価格で評価**
査定の質、信頼性が違います。
- ③ **提携先様限定**
安心のクルマ買取サービスです。

W特典キャンペーン 2021 11/1 ▶ 2022 1/31

特典 1 売買契約締結で 商品券 10,000 円分	特典 2 グルメカタログギフト 5,000 円分
--	--

ANA/JALのマイルへの変更可も可能です。

※上記期間内に売買契約を締結した方が対象となります
 ※特典は買取金額 5 万円未満の場合は対象外となります。
 ※カタログギフトの発送はお車のお引き取りをした翌月となります。

- ④ **全国無料出張査定**
ご自宅や勤務先等、ご指定の場所までお伺いします。
- ⑤ **スムーズ & スピーディな買取手続き**
面倒な手続きもフォローします。

JCM は、都市銀行・生損保・社団法人等が設立した唯一の自動車流通商社です

● 株主は、大手銀行や一般社団法人を始め保険会社や信販会社など計 60 社。● 防衛省唯一の中古車指定業者。● 外務省・JICA・医師会・弁護士会・税理士会などの官公庁・各種団体及び企業と提携。専門性・信頼性が違います。安心してお問い合わせください。

無料見積全国対応! お気軽にご相談ください。

無料お見積もりのお電話はこちらから。

0120-322-755

受付時間 (日祝休み) 9:30 ~ 17:30 (月~土)

Webからのお申し込みもできます!

無料見積
全国対応



■ 当社は皆様の愛車をオークション事業等を通じて業界に供給する会社です。
 株式会社 JCM 広島支店 〒730-0037 広島市中区中町 8-12 広島グリーンビル 4F
 札幌支店 / 仙台支店 / さいたま支店 / 東京本社 / 名古屋支店 / 大阪支店 / 広島支店 / 福岡支店 / 四国エリアオフィス



個人情報の取扱について
 お客様からお預かりした個人情報は、本サービスを円滑・的確に提供するために利用し、ご本人の了承を得ずに第三者への開示・提供や目的以外での利用はいたしません。ただし、サービスにより利用目的の達成に必要な範囲内において個人情報取扱い業務の一部または全部を当社提携委託先に行う場合があります。(この場合は、個人情報取扱いに関し、当社同等以上の義務を課します) / お客様が個人情報を提供することに関しては、お客様任意のものとなりますが、情報が不十分な場合には、本サービスをご利用できない場合がございます。/ お客様の個人情報に関する、情報開示・訂正・削除は、下記までお問い合わせください。
 【個人情報取扱に関する問い合わせ】(株) JCM 流通事業部 個人情報保護部門管理者 ryutsu@jcmnet.co.jp 電話: 03-3219-0055